

令和2年度使用中学校用教科用図書

専門員調査研究報告書

令和元年8月8日（木）

埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会

目 次

○国 語 (国 語)	1
○国 語 (書 写)	7
○社 会 (地理的分野)	13
○社 会 (歴史的分野)	18
○社 会 (公民的分野)	27
○社 会 (地 図)	35
○数 学	38
○理 科	46
○音 楽 (一 般)	52
○音 楽 (器楽合奏)	55
○美 術	58
○保健体育	62
○技術・家庭科 (技術分野)	52
○技術・家庭科 (家庭分野)	71
○外国語 (英語)	75

埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会専門員国語科調査の観点

項目	観 点
教育基本法、学校教育法の下の中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるために、どのような工夫が見られるか。 ○思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにするために、どのような工夫が見られるか。 ○国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てるために、どのような工夫が見られるか。
特色	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会生活に生きて働く国語の知識・技能を習得できるように、どのような工夫がされているか。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○言語活動を通して指導事項を指導するという視点をふまえ、課題解決的な学習となるよう単元構成にどのような工夫が見られるか。 <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習に対する必要感や有用感を持ち、伝え合うことよさを実感できるようにどのような工夫が見られるか。 <p>＜言語感覚を豊かにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○言葉の使い方の、正誤・適否・美醜について、感覚的にとらえることができるようにどのような工夫が見られるか。 <p>＜国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○我が国の歴史の中で創造され、継承されてきた伝統的な言語文化に親しみ、継承・発展させる態度を育てるためにどのような工夫が見られるか。
	<p>資 料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習効果を高めるため、資料にどのような工夫が見られるか。 ○さし絵、写真、図表等、資料のレイアウトにどのような工夫が見られるか。
	<p>表記・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○漢字・用語・記号などの使い方にはどのような工夫が見られるか。 ○特別支援教育の視点から、障害その他の特性の有無にかかわらず生徒にとって読みやすくするため、どのような配慮がなされているか。
総 括	(全体的な特徴、その他)

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">新編 新しい国語</p> <p style="text-align: right;">2 東 書</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○幅広い知識・教養と思考力、豊かな人間性、伝統文化を受け継ぐ心、未来を切りひらく創造性と公共の精神を重視して編集されている。</p> <p>○学習指導要領の教科の目標に則り、指導事項と言語活動例が設定されている。</p> <p>○「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が重視されており、伝統文化や言語についての記述が充実している。</p>
<p>特色</p>	<p>内 容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○各領域の各学習材に、身に付けたい知識・技能が「言葉の力」として明示されていて、その着実な習得が図る内容となっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○習得した「言葉の力」を後の学習で活用することによって、思考力・判断力・表現力を高められるよう構成されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○巻頭折り込みに、国語学習の意義と進め方、1年間の見通しが示されている。</p> <p>○「学びを支える言葉の力」では、学んだことが国語や他教科の学習、実生活にどう生きていくのかを確かめられる内容となっている。</p> <p><言語感覚を豊かにするための工夫></p> <p>○複数の文章を読み比べる活動や、図表を読みとったり作成したりする活動が、全学年に配置されている。</p> <p>○語彙・文法・漢字を確実に習得するための学習材が設けられ、また、生徒の語彙が豊富になるよう工夫されている。</p> <p><国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる工夫></p> <p>○口絵と扉に季節感のある言葉や詩歌が掲載されていて、1年を通じて日本の豊かな風土に培われた言語文化に親しめるよう設定されている。</p>
<p>資料</p>	<p>○「資料編」に、自学できる素材が多く掲載されている。</p> <p>○国語の一般的な教養、実生活で役立つ手紙や原稿用紙の使い方が示されている。</p> <p>○「言葉を広げよう」には、さまざまな言葉が分類されていて、全て例文付きで例示されている。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○「北」や「比」、「入」など、明朝体の字体が筆記体と異なる漢字の表記を、筆記体に近付けた形で記されている。</p> <p>○全ページにわたり配色とデザインの検証が行われている。全ての生徒にとって各部の認識や重要な部分の判別がしやすいよう工夫されている。</p>
<p>総括</p>	<p>○学習指導要領の内容は、本編七つの単元で網羅されており、「基礎編」・「資料編」を用いて、適宜学習の深化や拡充を図ることができるよう構成されている。</p> <p>○教材で身に付けさせたい知識・技能のポイントを「言葉の力」で示し、「学びの扉」で活用的な学習に展開させるよう工夫されている。また、「学びを支える言葉の力」で学んだことが国語や他教科の学習、実生活に生かされるような内容となっている。</p>

<p>書名 項目</p>	<h1 style="margin: 0;">中学校国語</h1> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> 11 学 図 </div>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○国語学力・読解力・批評力・思考力の養成について配慮されている。 ○すべての単元に学習の目標や学ぶ手立て、見通しが明確に示されている。 ○学習活動の個性的な広がりや深まりについて配慮されている。 ○国語科教材として価値の高い教材や日本の伝統文化を継承し発展させることに資する教材の配列がなされている。
<p>特 色</p>	<p style="margin: 0;">内 容</p> <p style="margin: 0;"><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元の「読むこと」では「学びの窓」を配置し、学習の仕方を学び、「ついた力を確かめよう」で振り返りをすることを繰り返すよう工夫されている。 <p style="margin: 0;"><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元の「発見する読み」では、学習者の思考を揺さぶり活用を意識した学習が設定されている。 <p style="margin: 0;"><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」「書くこと」では「学習の見通しを持つ」と中でねらいと活動の流れが示されていて、主体的な学びや問題意識を喚起するよう設定されている。 <p style="margin: 0;"><言語感覚を豊かにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻末に「言語の学習」があり、各学年の「語句・語彙の学習」が設けられている。 ○言葉の美しさに気づかせるよう単元扉に「声に出そう」「考えてみよう」として詩が配置されている。また、古典教材の全てに本文の理解に基づいた音読・朗読活動が設定されている。 <p style="margin: 0;"><国語に対する認識を深め国語を慎重する態度を育てるための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○伝統的な文化にかかわる教材としてさまざまな古典作品を掲載するとともに古典解説や能の台本である謡曲の解説の説明が掲載されている。 <p style="margin: 0;">資 料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻末に言語の学習として「文法」「語句・語彙の学習」「古典文法」「古語の意味」「注意すべき筆順」「常用漢字表」と既習事項についての豊富な資料が掲載されている。 ○写真資料は鮮明で学習内容に即したものが掲載されている。 <p style="margin: 0;">表記・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ページの色分けにより教科書全体の構成を一目で理解できるよう工夫されている。 ○「学びの窓」で語彙選択やその意図、効果について捉えられるよう設定されている。また、脚注で語句の意味について多数提示し、体系的に語彙を身につけられる内容となっている。
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○全学年五つの単元と「言語の学習」で構成されている。 ○「読むこと」では「学びの窓」で「読む前に」「読みを深める」「まとめ」の3段階の学習課題で示し教科書に書き込める欄が設けられている。そして「ついた力を確かめよう」で学習者が自分自身で振り返りができるような内容となっている。 ○全体を通して、話し合い活動など交流や共有の活動を重視し、表現力の向上を図る内容となっている。

<p>書名 項目</p>	<p>現代の国語</p> <p style="text-align: right;">15 三省堂</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○基礎的・基本的な知識や技能を習得し、繰り返し活用することをおして定着させていけるよう、各領域とも学習の方法や重視する観点を明確に示されている。</p> <p>○学年の発達段階を踏まえ、課題解決的な言語活動を系統的に設定し、思考力・判断力・表現力を高めることができるよう工夫されている。</p> <p>○学びの意欲を高められるように多様な言語活動が設定されている。</p>	
<p>特色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○習得した基礎的・基本的な知識や技能を繰り返し活用していくことで定着させていけるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○日常生活や現代社会における課題を取り上げ、集団で考えたり問題解決したりする機会や場が多く設けられている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○教材の冒頭に学習目標が明示され、末尾には学習を振り返る場面や活動があるなど、学習の流れが捉えやすくなっており、自分の学習を評価し、次の学習に生かすことができるよう設定されている。</p> <p><言語感覚を豊かにするための工夫></p> <p>○学習の文脈に即した多様な言語活動が設けられており、生徒の日常生活や社会生活の場で生かされるような言葉の力を身に付けていけるような内容となっている。</p> <p>○様々な価値観、多角的な視点から捉えたテーマや課題が扱われており、多様で豊かなものの見方や考え方を身に付けられるような内容となっている。</p> <p><国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる工夫></p> <p>○伝統的な言語文化と日常生活を結びつけ、意欲を高めるような言語活動やコラムが配置されている。</p>
<p>資 料</p>	<p>○「資料編」に「学習用語辞典」としてまとめられており、繰り返し確認ができるよう工夫されている。</p> <p>○さし絵や写真が多く使われており、作品や文章の内容を補助的に捉えやすいよう表現されている。色の違いだけでなく、色の濃淡なども工夫されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○「学びの道しるべ」では、わかりやすく読みやすい用語や表現が用いられ、活動指示が行われている。読みやすいようにフォントが使い分けられ表現されている。</p> <p>○重要な項目は囲んだり、大きな文字やフォントで示したりすることにより、区別のためはっきりと記されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○七つまたは八つの「本編」と「資料編」から構成され「資料編」には、さまざまな学習に必要な実践的知識や具体的な学び方が設けられている。</p> <p>○「学びの道しるべ」で「内容を整理」し「考えを深め」、「学びを広げ」、振り返りの機会を設定し生活に活かす学習課題が示されている。また「読み方を学ぼう」では習得すべき知識や技能、課題の解決方法を図解することにより学習の確認ができるよう工夫されている。</p>	

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">伝え合う言葉 中学国語</p> <p style="text-align: right;">17 教出</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○学力向上のために、1年間で無理なく学力が高まるよう、単元が構成されている。</p> <p>○社会に必要な「対話力」を付けることを目標に、さまざまな伝え合う力の育成に配慮した教材が設定されている。</p> <p>○多様な読書関連活動として、読書に親しむブックガイドやコラムの他、情報の収集や発信などの情報リテラシーについても設定されている。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特色</p>	<p>内 容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○「書くこと」について、各学習過程の重点を押さえて教材を4本配置されている。</p> <p>○「習得」と「活用」を反復して押さえていくよう構成されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「みちしるべ（学習の手引）」の設問「考えよう」は、思考力・判断力・表現力を発揮させるための課題として設定されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「みちしるべ」では、学習の流れを可視化した設問を載せていて、その教材で何を学ぶのが明確に示されている。</p> <p>○「読むこと」では「読んでみよう」で関連する本が紹介されている。</p> <p><言語感覚を豊かにするための工夫></p> <p>○「言葉の小窓」では敬語の社会の中での活用など、日常的な言語活動への導入が図られている。</p> <p>○「付けたい力」や「教科の特性」としっかり関係付けられた「言語活動」が、各領域の学習内容や学習活動に即して単元ごとに設定されている。</p> <p><国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる工夫></p> <p>○「蜘蛛の糸」などの文学的文章など、豊かな表現を読むことを通して生徒の心の成長にも資するような作品が多く掲載されている。</p> <p>資 料</p> <p>○巻末に小倉百人一首や古典の冒頭部分をのせ、日本の伝統的な言語文化を継承していく態度を育成が図られている。</p> <p>○文字、図、写真が鮮明で、学習内容に興味を湧くよう配置されている。</p> <p>○「読書への招待」では、難解な言葉の意味がページ内に記されている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○判読しやすいように配色やレイアウトが工夫されている。</p> <p>○一目で行数がわかるように、行数を示す数字の間に「・」が示されている。</p> <p>○この教材で身に付けるべき力が明記され、さらにその力がその後の人生でどう必要なのかが分かりやすく示されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○八つの単元と言葉と文法、漢字、言葉の自習室で構成されている。</p> <p>○興味・関心・意欲を持って国語として身につけたい言葉の力を高めて学習ができるよう配慮している。また、日常生活や他教科の学習にも生かせるよう工夫されている。</p> <p>○「読むこと」の教材と「話すこと・聞くこと」「書くこと」を関連させて学べるよう工夫されている。</p>

<p>書名 項目</p>	<p>国語</p> <p style="text-align: right;">38 光村</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○課題解決に向けて、他者と合意形成したり討論したりしながら考えを深め、課題解決にせまることができるような力を付けられる内容となっている。</p> <p>○課題解決を行う過程では、情報活用能力を育成できるよう配慮されている。</p> <p>○日常的な読書がより豊かなものになるように、教科書での学習と関連させた学習が設定されている。</p>
<p>特色</p>	<p>内 容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○「読むこと」では「学習の窓」を設け、文章の内容を理解するためのポイントが示されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「読むこと」では、「学習」を設け「確認しよう」「読みを深めよう」「自分の考えをもとう」と示し、思考の手順を立てて学習を見通せるよう工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○具体的な学習の流れを見通せるよう、教材の冒頭に「目標」が示されている。</p> <p>○「学習の見通しをもとう」「いつも気をつけよう」では、生徒が学習の見通しをもったり、既習事項の確認をしたりできるよう工夫されている。</p> <p><言語感覚を豊かにするための工夫></p> <p>○1学年の「読書記録」では、印象に残った一節や感想を書き留められるよう工夫されている。</p> <p>○「続けてみよう」では、語彙を増やしたり言語感覚を磨いたりすることを継続してできるよう工夫されている。</p> <p><国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる工夫></p> <p>○言葉をテーマにした教材を位置付け、じっくりと考えられる機会を設けられている。</p> <p>○「季節のしおり」で季節の感性、暦の言葉、季語の語感を楽しめる工夫をしている。</p> <p>資 料</p> <p>○「季節のしおり」では四季にちなんだ詩歌や季語を紹介し、伝統的な日本の言葉に触れる機会を折々にもてるよう工夫されている。</p> <p>○これまでと同じ作品であっても、図の色を変えたり配置を変えたりしてより活用しやすいよう配慮されている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○教科書のためにデザインした光村明朝体を用いていて、見やすく正しい文字を意識させることができるよう工夫されている。</p> <p>○生徒の目につきやすいマーク（顔、虫眼鏡など）を多用し、意識付けできるよう配慮されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○七つの単元と巻末の資料などで構成され学習を見通しやすく構成されている。</p> <p>○課題解決に向けて協力しあったり助言しあったりする活動を通じて、コミュニケーション能力を育成するよう工夫されている。言語活動で身に付けた言葉の力を日常生活で生かせるよう「生活に生かす」「他教科に生かす」が設定されている。</p> <p>○互いの立場や考えを尊重し合いながら言葉で伝え合う力を高め、思考力・判断力・表現力を養う学習を通して、道徳的心情や判断力を育成するよう工夫されている。</p>

埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会専門員国語科（書写）調査の観点

項目	観 点
教育基本法、学校教育法の下の中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○字形、文字の大きさや配列、読みやすく速く書くことなどに留意して書く能力を育成するために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書いたり、目的や必要に応じて楷書や行書を選んだりして書く能力を育成するために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てるために、どのような工夫が見られるか。</p>
特 色	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫＞</p> <p>○書写の基礎的・基本的な知識・技能を習得するために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○目的や必要に応じて、文字を選んで効果的に書く学習について、学習過程にどのような工夫が見られるか。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○文字文化への興味・関心を持ち、社会生活に役立てようとする態度を養うために題材の選定にどのような工夫がされているか。</p> <p>＜硬筆と毛筆の関連＞</p> <p>○毛筆での学習を、硬筆の学習の基礎に結び付けるためにどのような工夫がされているか。</p>
	<p>○学習効果を高めるため、資料の内容には、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○さし絵、写真、図表等、資料の配置や手本との関連にはどのような工夫が見られるか。</p>
	<p>○用語の使い方にはどのような工夫が見られるか。</p> <p>○特別支援教育の視点から、障害その他の特性の有無にかかわらず生徒にとって読みやすくするため、どのような配慮がなされているか。</p>
総 括	(全体的な特徴、その他)

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">新編 新しい書写</p> <p style="text-align: right;">2 東 書</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○始筆、送筆、終筆について点画ごとに朱墨を使って分かりやすく記載されており、擬声語を使って感覚的に理解することもできるよう工夫されている。</p> <p>○楷書と行書の使い分けについて、自分の意見をまとめるページが設定されている。</p> <p>○道徳教育に適した相手を思いやる態度についてなどを扱う内容が設けられている。</p>	
<p>特色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○始筆、送筆、終筆について点画ごとに朱墨を使って分かりやすく記載されており、擬声語を使って感覚的に理解することもできるよう工夫されている。</p> <p>○「調べよう」「確かめよう」「広げよう」の3段階を設け、段階的に学べるよう配慮されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成させる工夫></p> <p>○楷書と行書の使い分けについて考え、自分の意見をまとめるページが設けられている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○生活で見かける文字、ノート書き方、はがきやメールを出すときなど、生活に即した多分野の例が取り上げられている。</p> <p>○「振り返ろう」の項目を設け、自己評価ができるよう工夫されている。</p> <p><硬筆と毛筆の関連></p> <p>○楷書、行書ごとに点画や文字の配置についてまとめられている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○全ページカラーでまとめられている。</p> <p>○色紙や手紙、ポスターやレポートなど多くの例が記載されている。また、筆や鉛筆だけでなく、フェルトペンやボールペンなどについても触れられている。</p> <p>○小学校での学習事項の定着度を確認したり、古典作品の鑑賞教材を設けたりするなど、小・中・高等学校のつながりについて配慮されている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○全ページにわたって重要な部分は赤で書かれているなど配色が考えられている。</p> <p>○色を使って部首や配置などが分かりやすく記載されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○実生活に即した例や課題が多く、考えたことをまとめる項目を設けることで、思考力・判断力の向上にもつなげ、より実践的な能力の育成が図られている。</p> <p>○硬筆や毛筆の練習では正しい配置や点画について考えられるよう配慮されている。</p> <p>○小学校書写と関連を図り、高校書道へのつながりを考慮した内容となっている。また、道徳教育についても項目が設けられている。</p>	

<p>書名 項目</p>	<p>中学校 書写</p> <p style="text-align: right;">11 学 図</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○練習を通して、基本的な点画など学習事項が学べるよう構成されている。</p> <p>○楷書と行書の比較がされており、その変化が捉えやすくなるよう工夫されている。</p> <p>○文字が中抜きで説明されており、筆脈が理解しやすく工夫されている。</p> <p>○はがきや手紙など実生活に即したものを学習できるページが設けられている。</p>
<p>特 色</p>	<p>内 容</p> <p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫＞</p> <p>○手本、説明という順に記載され、練習を通しながら学習できるよう工夫されている。</p> <p>○教材ごとに「目標」がタイトルとして示されている。</p> <p>○「楷書に調和する仮名」に中心線から引かれ、文字のバランスが身に付くよう配慮されている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成させる工夫＞</p> <p>○職場体験の手紙やはがきなど、学校生活に即した例が記載されている。また、修学旅行のまとめ方や、色紙、英語の手紙など、多彩な例も記載されている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○一つの自己評価欄内の項目を複数にすることで、生徒自身の達成度がより明確になるよう配慮されている。</p> <p>＜硬筆と毛筆の関連＞</p> <p>○毛筆の練習、学習内容の説明、硬筆の練習の順序になっており、同じ学習内容について硬筆、毛筆を比較しながら学習できるよう配慮されている。</p> <p>資 料</p> <p>○説明のページは文字が中抜きにしてあり、筆脈や筆使いが理解しやすく工夫されている。</p> <p>○各単元に書の歴史など鑑賞のページが設けられており、生徒の興味・関心を引くとともに、高校の芸術の学習との関連性にも配慮されている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○学習内容、注意点、手本、説明などが同じ配置で各ページ記載されており、読みやすく理解しやすい配置となるよう配慮されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○説明が端的で、簡潔に記載されている。</p> <p>○毛筆を通して学習したことが、その次の硬筆の練習において、毛筆と比較して学習できるよう構成されている。</p> <p>○授業だけでなく、生徒自身が課題を発見・解決できる学習過程を明確にするとともに、家庭学習が可能な内容となっている。</p>

<p>書名 項目</p>	<h1 style="margin: 0;">現代の書写</h1> <div style="float: right; text-align: right;"> 15 三省堂 </div>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○筆使いのポイント（穂先、筆圧など）について写真や図で説明を用いて解説されている。</p> <p>○学年ごとに学習指導要領に沿った展開となっており、目的や必要に応じて楷書や行書を選択して書けるよう工夫されている。</p>	
<p>特色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○文字についての解説が記載されていたり、筆順・筆使いの説明を濃淡で表示したりしている。</p> <p>○毛筆の学習でも硬筆で学習したことを生かすことができたり、学習したことを自分の文字として活用できたりするよう、工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成させる工夫></p> <p>○「考えよう・話し合おう」「書いて確かめよう」という学習過程を柱に構成されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○文字の変遷や文字の種類、レイアウトなどにも工夫が施されており、日常生活のさまざまな場面において、学習したことが活用できるよう工夫されている。</p> <p><硬筆と毛筆の関連></p> <p>○毛筆での学習で、楷書・行書それぞれ特徴の解説があり、毛筆で整った文字を書くことから、日頃の硬筆での書き方などに反映できるようにまとめられている。</p>
<p>資 料</p>	<p>○イラストからの問いや、学習・内容確認のためのせりふなどがちりばめられており、見ても読んでもわかりやすい内容で構成されている。</p> <p>○毛筆では教科書の上下に中心を示す記号がつけられていたり、筆脈の連続などによってどのような書き方がよいかを示したりするなど配慮されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○ポイントごとにイラストを使って説明するとともに、筆・ペンの正しい持ち方や使い方なども、写真やイラストを使って学習しやすく構成されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○「振り返ろう」というコメントが単元ごとに記載されており、学習したことの振り返りができるような呼びかけが付されている。</p> <p>○書写の学習で身に付けたことが生かせるよう、さまざまな場面が設定されており、毛筆による学習を硬筆に生かすことや、楷書と行書を使い分けること、効果的に書くことなど、主体的に取り組むことができるよう工夫されている。</p>	

<p>書名 項目</p>	<h1>中学書写</h1> <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 17 教出 </div>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○姿勢や持ち方、筆使い、書き順、書き方など書写学習の基礎・基本が明確に示されている。</p> <p>○様々な学習活動や社会生活に生かせるように、学年ごとに手紙や原稿用紙、レポートなどの書き方を取り扱われている。</p>
<p>特色</p>	<p>内 容</p> <p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫＞</p> <p>○各単元の目標がわかりやすく、目立つよう示されている。</p> <p>○文字についての解説や、筆順・筆使いの説明がしっかり記載されている。</p> <p>○学んだことを自分の文字として活用できるよう、内容が工夫されている。</p> <p>○留意点などが明確に記載され、学習しやすく工夫されている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成させる工夫＞</p> <p>○各単元の中に資料があり、文字を書くことのみならず、日常生活の中で学習を生かすことができる内容で構成されている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○文字の変遷や文字の種類、レイアウトなどにも工夫が施されており、日常生活のさまざまな場面において、学習したことが活用できるよう工夫されている。</p> <p>＜硬筆と毛筆の関連＞</p> <p>○毛筆での学習で、楷書・行書それぞれ特徴の解説があり、毛筆で整った文字を書くことから、日頃の硬筆での書き方などに反映できるようにまとめられている。</p> <p>資 料</p> <p>○行書の学習では、穂先の動きや筆の運びがわかりやすく示されている。</p> <p>○硬筆では、学習を深める観点から小説家や詩人の自筆の文字が扱われている。</p> <p>○巻末には、小・中学校で学習する漢字を「漢字一覧表」として手書きによる行書で示している。</p> <p>表記・表現</p> <p>○各学年のページごとに学年の目次があり、使いやすく構成されている。</p> <p>○全体的に見やすく構成されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○「書写学習の構図」があり、その学習の生かし方について説明されている。</p> <p>○各学年の目次に、目立てが表記されており、何を学習していくかがわかるよう説明されている。</p> <p>○1 学年では礼状やレポート等、2・3 学年ではさらに社会生活に必要な手紙や案内状、包み紙など書き方を学習し、日常生活に生かせるよう配慮されている。</p>

<p>書名 項目</p>	<h1 style="margin: 0;">中学書写</h1> <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 38 光村 </div>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○「字形の整え方」や「読みやすく書くために」というページが設けられており、学習のポイントが明確に示されている。</p> <p>○3年間の系統的な学習が行えるよう配慮されている。</p> <p>○始筆、送筆、終筆や、行書の筆脈について、丁寧に説明されている。</p> <p>○手紙や封筒など、用途に応じた書き方を学ぶことができるよう構成されている。</p>	
<p>特色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○始筆、送筆、終筆の基本的な筆使い、字形についての点画の組み立て方などが詳しく例示されている。</p> <p>○「基礎編」を設け、小学校での学習事項を確認した上で、「学習編」で中学校書写到円滑に接続し、「資料編」で主体的な学習ができるよう配慮されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成させる工夫></p> <p>○書く活動だけでなく、課題解決に向けて協力したり、話し合ったりする活動を通して、コミュニケーションスキルの向上が図られるよう配慮されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「学習の目標」「原理・原則の理解」「実際に書く」「振り返る」など主体的な学びになるよう構成が配慮されている。</p> <p><硬筆と毛筆の関連></p> <p>○毛筆を学習する際、「学習したことを生かして書こう」で硬筆を生かした学習が設定されている。</p>
<p>資 料</p>	<p>○絵や写真などの多くの例が記載されている。</p> <p>○イラストを交えて、学習のポイントに注目させるよう配慮されている。</p> <p>○説明と図が上下に配置され、流れに沿って二つを見ながら理解することができるよう工夫されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○分かりにくい筆づかいや字形については、写真で示したり、図解したりして視覚的に理解できるよう配慮されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○硬筆や毛筆の基本的な知識・技術の習得に向けた学習に加え、実用的なものやデザインなど、多分野にわたって使える技術の習得を目指した内容となっている。</p> <p>○写真や絵などを用いて、生徒の関心・意欲が高まるよう工夫されている。</p> <p>○①「学習の目標の確認」②「原理・原則の理解」③「実際に書く」④「自己評価」という構成になっており、生徒の主体的な学びにつながるよう配慮されている。</p>	

埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会専門員社会科（地理的分野）調査の観点

項目	観 点
教育基本法、学校教育法の下の中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○地理的な見方や考え方の基礎を培うために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○地域的特色や地域の課題をとらえさせるために、どのような工夫が見られるか。</p>
特 色	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫＞</p> <p>○基礎的・基本的な知識、概念や資料活用の技能の確実な定着を図るために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○社会的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断することができるようにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○調べたことや考えたことを適切に表現できるようにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○日本や世界の地理的事象に対する興味・関心・学習意欲を高め、進んで学習を行えるよう、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫＞</p> <p>○日本や世界の地域の諸事情を位置や空間的な広がりとのかかわりでとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫＞</p> <p>○我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養うために、どのような工夫が見られるか。</p>
	<p>資 料</p> <p>○学習効果を高めるため、資料にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○資料の配置、資料と本文との関係には、どのような工夫が見られるか。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○生徒の理解を高めるため、表記・表現（見出し、記号、用語、脚注など）に、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○特別支援教育の視点から、障害その他の特性の有無にかかわらず生徒にとって読みやすくするため、どのような配慮がなされているか。</p>
総 括	(全体的な特徴、その他)

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">新編 新しい社会 地理</p> <p style="text-align: right;">2 東 書</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○各章の章扉で小学校社会科の学習内容を用語や写真を通して振り返る場面を設け、小学校での4年間の社会科学習に、中学校での3年間の学習を重ねた「7年間の社会科学習」を系統的に展開するよう配慮されている。</p> <p>○各見開きの最初に「導入資料」が掲載され、日本や世界の様々な地理的事象について生徒が関心をもって学習に取り組めるよう工夫されている。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○抽象的な用語は、巻末の「用語解説」で解説し、確実に理解できるよう配慮されている。また、「スキルアップ」を16か所設けて基礎的な知識・技能を系統的に習得できるようにしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○見開きのページ下に「確認」（机マーク）を設けて、説明・要約などの学習内容をまとめる言語活動が短時間でできるよう工夫されている。また章末のまとめにウェブマップやイラストマップなど多様な方法を例示して言語活動を促している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○単元の最初に、興味・関心をひく「導入資料」を掲載し、親しみやすい4人のキャラクターの吹き出しで、それらを読み取る視点を提示したり、「ためしてみよう」を設けたりして主体的な学習活動を促している。</p> <p><地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫></p> <p>○学習内容に合わせて「スキルアップ」や「調査の達人」コーナーを設けて、資料の見方や考え方を培うとともに、資料の使い方や表し方、調査学習の進め方など基礎的・基本的な技能も身に付くよう配慮されている。</p> <p><我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫></p> <p>○学習内容に合わせて「地理にアクセス」を50か所設けて、理解がより深まるよう配慮されている。また、世界・日本の諸地域の節末には「学習をふり返ろう」章末には「学習を確認しよう」が設けられている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○各編第3章の諸地域学習では、世界の各州の導入部にイラストを使用した地図や自然や生活に関する写真を掲載し、日本の各地方の導入部には各地方の「追究テーマ」に関連した写真を掲載するなど地域のイメージがもてるよう配慮されている。</p> <p>○資料に付した「図番号」を本文中にも色つきで表記することにより、資料の活用を促している。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○写真が鮮明で見やすく、豊富に掲載されている。巻末の統計資料も落ち着いた色調で色分けされていて見やすくなるよう工夫されている。</p> <p>○各見開きのデザインは本文を中心に資料、側注など統一したレイアウトで配置され落ち着いた色調で文字も読みやすくなるよう工夫されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○見開き1時間の紙面を興味・関心を引き出す「導入資料」、1時間の学習を見通す「学習課題」、丁寧でわかりやすい「本文」、1時間の学習をふり返る「確認」で構造化され、基礎的・基本的な知識や技能、概念が確実に習得できるよう配慮されている。</p> <p>○環境・エネルギー、防災・安全、伝統文化・宗教、人権・平和、領土や国宝・世界遺産なども取り上げ、多面的・多角的な学習を配慮した内容となっている。</p>	

<p>書名 項目</p>	<p>中学社会 地理 地域にまなぶ 17 教出</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○地図を多く掲載し、地理的な見方や考え方を養いながら、我が国の国土や世界の諸地域に関する地理的認識を深められるよう工夫している。 ○各章の章扉には写真を掲載して学習への興味・関心を高めるよう、またコラム「地理の窓」「地域から世界を考えよう」「現代日本の課題を考えよう」を設けて幅広い知識と教養を身に付けられるよう配慮されている。</p>	
<p>特色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○1時間の学習内容を「ふりかえる」の「ステップ1」で、各単元の基礎的・基本的な内容を単元末の「学習のまとめと表現」で確認できるよう工夫されている。また基本的な技能の習得をねらい「地理にアプローチ」が16か所設けられている。 <思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○親しみやすいキャラクターの吹き出しに考えるヒントや思考を促す発問を示して学習活動が行えるよう工夫されている。また「ふりかえる」の「ステップ2」では学習したことを使った言語活動を促している。 <主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○「学習課題」で見通しをもたせ、掲載した資料を解説する「見てみよう」を設けて理解が深まるよう配慮されている。また「学習課題」に対応した「ふりかえる」を設けて学習の確認ができるよう工夫されている。 <地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫> ○「読み解こう」を設け言語活動を促したり、各単元末に「学習のまとめと表現」が設けられ、基礎的・基本的な知識を確認、整理したりするとともに、地理的な見方や考え方を駆使して学習内容を表現する課題が設けられている。 <我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫> ○「地理の窓」（43か所）や「地域から世界を考えよう」（6テーマ）「現代日本の課題を考えよう」（7テーマ）を設け、より現実的な地理的事象に触れることで生徒の興味・関心をひくようにし、地理的認識が深まるよう工夫されている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○日本や世界各地の特色がつかめるよう人々の生活に関する写真を数多く掲載し、解説文「見てみよう」を設けて、資料の理解がより深まるよう配慮されている。また世界・日本の衛星写真が折り込み8ページにわたり掲載されている。 ○本文を補完する資料に付した「資料ナンバー」を本文中にも色つきで表記することにより、資料の活用を促している。ページ下には「関連ページ」が記されている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○写真が鮮明で見やすく、地図もレイアウトが大きく落ち着いた色調で見やすくなるよう工夫されている。巻末の統計資料も見やすいよう色分けされている。 ○ページ下に「連携コーナー」や「～もみてみよう」が、行間に関連するページが、掲載され、幅広く学習できるよう工夫されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○見開き1時間の紙面を「導入資料」「学習課題」「本文」「ふりかえる」ステップ1・2で構造化され、基礎的・基本的な知識や技能が確実に習得できるよう配慮されている。 ○興味・関心を高め、今日的な課題を取り上げたコラムや特設ページも多く設けられ、多面的・多角的な視点で学習することにより社会的な見方や考え方の基礎を培い、社会の形成に参画する態度を養うよう配慮した内容となっている。</p>	

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土</p> <p style="text-align: right;">46 帝 国</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○学習指導要領の目標・内容に沿って単元が構成され、国土理解及び国際理解のために、日本・世界各地における自然環境、人口、産業などを最新の状況もふまえて記述し、幅広い知識と教養を身に付けるよう配慮されている。</p> <p>○「もくじ」「この教科書の学習の仕方」を設け、単元構成と学習内容、コーナーの意図や役割を示すことで、学習の見通しがもちやすいようにしている。</p>	
<p>特 色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○基本的な用語や概念の理解を優先的に学べるよう「解説」が多く記載されていたり文章で書かれた内容を補足し理解を促進したりするなど、わかりやすい図解が多数掲載されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○ページの下に、本時の学習での習得事項を確認する「確認しよう」と学習内容を活用して思考を促し、自分なりに判断・表現する問い「説明しよう」が設けられており、言語活動を毎時間行うことができるよう工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○中学生などをモチーフにしたキャラクターを各ページに使用することにより、生徒が親しみやすくなるようにするとともに、発問や気付き、学習の手がかりや示唆などを提示することで、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。</p> <p><地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫></p> <p>○学習内容に合わせて「技能をみがく」コーナーが25か所設けられ、資料の具体的な見方や考え方、表現方法を示すことにより、地理学習の基礎的・基本的な技能を習得できるよう配慮されている。</p> <p><我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫></p> <p>○「日本の諸地域」と「世界の諸地域」の各節の最後には、それらの学習を振り返ることができるよう、基礎的・基本的な知識が身に付いたのか確認しながら整理する作業ページ「学習をふりかえろう」が設けられている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○本文の記述を補足する写真や図表などが豊富に、また大判で掲載されている。</p> <p>○学習内容に関連する事項と参照ページや参照資料を図番号などでリンクできるよう配慮されている。また、資料の読み取りのポイントを示した「資料活用」が随所に設けられ、資料の活用を促している。文章だけでは理解しづらい用語には図や写真が添えられて視覚的に理解が深まるよう工夫されている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○本文は読みやすいユニバーサルデザインフォントが使用されており、写真も大きく印刷が鮮明で見やすくなるよう工夫されている。</p> <p>○各見開きのデザインは、本文、資料、側注などが統一したレイアウトで配置され、誌面の使い方が整理されており、学習しやすいよう配慮されている。</p>
	<p>総 括</p>	<p>○見開き1時間の誌面が、興味・関心をひく「導入」や学習のめあてを見通せる「学習課題」、丁寧でわかりやすい「本文」、学習事項を振り返る「確認しよう」、「説明しよう」の流れで構造化され、基礎的・基本的な知識や技能が確実に習得できるよう配慮されている。</p> <p>○「防災」「環境」「共生」の今日的課題を取り上げたコラムが羅針盤マークで示され、社会の形成に参画する態度を養うよう配慮されている。</p>

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">中学社会 地理的分野</p> <p style="text-align: right;">116 日 文</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○単元は、学習指導要領の目標・内容に沿って構成され、地図を大きく掲載し、地理的な見方や考え方を養いながら我が国の国土や世界の諸地域に関する地理的認識を養えるよう工夫されている。</p> <p>○各章のはじめに「ナビ」を設けて学習の見通しをもちやすくし、全てのページにインデックスを付けて学習内容の位置付けがわかるよう配慮されている。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○ポイントとなる重要語句を「学習課題」のすぐ下に明示して基本的な知識の習得を促している。また、学習内容を深めるための作業学習を明示した「トライ」を設け、基礎的・基本的な知識・技能が習得できるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○中学生をモチーフにしたキャラクターの吹き出しとともに、「読み取ろう」「考えよう」「まとめよう」「伝えよう」のコーナーを設けて言語活動を促したり、各単元末の「学習のまとめ」や各章末の「学習の活用」で課題を設けたりするなど工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「学習課題」に対応して「学習の確認と活用」を設け、学習の理解をすすめたり、その知識を活用してさらに考えを深めたりしている。また、現実的な問題に取り組む問いや関連した学習を示し、主体的な学習を促している。</p> <p><地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫></p> <p>○各単元末の「学習のまとめ」や各章末の「学習の活用」にはチェックボックスを設け、身に付けた知識が整理できるようにし、それを活用して地理的な見方や考え方が身に付くような学習ができる課題が設けられている。</p> <p><我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫></p> <p>○「地理プラスα」や「声」「自由研究（世界の諸地域）」「地域からのメッセージ（日本の諸地域）」などを設け、より現実的な地理的事象に触れることで認識が深まるよう工夫されている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○日本や世界各地の特色がつかめるよう自然や人々の生活に関する写真を掲載している。また、地図も大きく掲載して位置関係を視覚的につかめるよう配慮されている。</p> <p>○本文を補完する資料に付した「図番号」を本文にも色つき示すことにより、資料の活用を促している。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○写真が鮮明で見やすく、地図やグラフも落ち着いた色調で示され、その中に記入されている文字も見やすくなるよう工夫されている。</p> <p>○ページ下に「連携コーナー」や「～もみてみよう」が、行間には関連するページが、掲載され、幅広く学習できるよう工夫されている。</p>
	<p>総 括</p>	<p>○見開き1時間の紙面を、「導入資料」「学習課題」「本文」「学習の確認と活用」で構造化され、基礎的・基本的な知識や技能が確実に習得できるよう配慮されている。</p> <p>○小学校の学習内容や歴史・公民の学習内容とのつながりも明示して定着を図るとともに、多面的・多角的な視点で学習することにより、社会的な見方や考え方を養えるよう配慮した内容となっている。</p>

埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会専門員社会科（歴史的分野）調査の観点

項目	観 点
教育基本法、学校教育法の下の中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○我が国の歴史の大きな流れを理解させるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○我が国の伝統と文化の特色を考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○我が国と諸外国の歴史や文化が深くかかわっていることを考えさせ、国際協調の精神を養うために、どのような工夫が見られるか。</p>
特 色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○基礎的・基本的な知識、概念や資料活用の技能の確実な定着を図るために、どのような工夫が見られるか。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断することができるようにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○調べたことや考えたことを適切に表現できるようにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○歴史的事象に対する興味・関心・学習意欲を高め、進んで学習を行えるよう、どのような工夫が見られるか。</p> <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> <p>○我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> <p>○我が国の歴史と関連する世界の歴史を背景に、我が国の歴史を大きくとらえさせる学習を行えるよう、どのような工夫が見られるか。</p>
資 料	<p>○学習効果を高めるため、資料にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○資料の配置、資料と本文との関係には、どのような工夫が見られるか。</p>
表記・表現	<p>○生徒の理解を高めるため、表記・表現（見出し、記号、用語、脚注など）に、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○特別支援教育の視点から、障害その他の特性の有無にかかわらず生徒にとって読みやすくするため、どのような配慮がなされているか。</p>
総 括	<p>(全体的な特徴、その他)</p>

<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 項目 書名 </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 新編 新しい社会 歴史 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 2 東書 </div> </div>
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<p>○政治史や経済史に偏重することなく、文化史にも十分な紙面を割いている。</p> <p>○「深めよう」では、現代にも継承されている文化を扱うことで、我が国の伝統や文化に対する理解を深め、その継承者としての資質や能力を養えるよう配慮されている。</p>
特色	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫＞</p> <p>○知識を定着させるうえで必須の事項や、生徒がつまづきやすい事項については、簡潔な補足説明が加えることで、確実な定着が図れるようよう配慮されている。また、資料の見方や調べ学習の手法が紹介され、基礎的な技能の習得に配慮されている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○資料が豊富かつ効果的に配置され、資料を読み取る視点を適切に示唆することで思考力や判断力を身に付けられるよう配慮されている。また、短時間で取り組める言語活動を設けることで、適切に表現する力が身に付けられるよう配慮されている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○教科書の導入となる見返しや各単元の導入では、学習内容に関連する写真が豊富に掲載され、関心や意欲を高められるよう工夫されている。また、生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」が提示され、学習にスムーズに入れるよう工夫されている。</p> <p>＜我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫＞</p> <p>○見返しには、我が国が世界に誇れる国宝や重要文化財、世界遺産、史跡を取り上げ、通史学習でも該当の文化財にマークを付すことで、文化財を通して、我が国の歴史に対する理解と愛情を育てられるようにしている。</p> <p>＜我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫＞</p> <p>○各時代の学習を「時代全体の見通し」「具体的な通史の学習」「基本事項のまとめ」「時代の特色をとらえる言語活動のまとめ」の流れで構造化し、各時代の特色を確実にとらえられるよう工夫されている。</p>
総括	<p>資料</p> <p>○本文を補完する資料の数が多く、資料に付した「図番号」を本文にも付すことで、効果的に学習できるよう工夫されている。また、歴史研究の成果をふまえ、復元写真や想像図など、歴史が実感できる資料が豊富に掲載されている。</p> <p>○年表は、小学校の学習内容を中心に構成され、既習事項を振り返ることで、中学校での学習への意欲を高めることができるよう工夫されている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○ふりがなは本文だけでなく、資料ごとに付すことで、他の箇所での読み方の確認をする必要がないよう工夫されている。</p> <p>○全体を、カラーバリアフリーや特別支援教育の視点から検証し、色覚特性がある生徒にとって見やすい色やデザインになるよう工夫されている。</p> <p>○本文は見開き2ページ1単位時間を原則とし、目次、さくいん、巻末資料などを除いた総ページ数は271ページで、標準授業時数130時間のうち、5単位時間の予備時間を設け、柔軟な指導計画の作成できるよう配慮されている。</p> <p>○授業時数は、第1章に6時間、第2章に19時間、第3章に14時間、第4章に21時間、第5章に25時間、第6章に19時間、第7章に14時間となっており、配当時間が工夫されている。</p>

<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 項目 書名 </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 中学社会 歴史 未来をひらく 17 教出 </div>
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領の「社会科の目標、各分野の目標、内容、内容の取り扱い」をふまえ、歴史的分野に必要な社会科の基礎的・基本的な事項が明確におさえられている。典型的な教材への焦点化と学習内容の重点化が的確に図られている。 ○各節の内容は基本的に「世界の動きから日本の動き」の順で配列され、時代背景を大局的に押さえながら学習できるよう構成されている。
特色	<div style="margin-bottom: 10px;"> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○全体のページ数や本文の記述量を充実させ、学習内容を詳しく丁寧に扱うことにより、基礎的・基本的な事項の確実な習得が図られるよう工夫され、本文中には、資料番号や関連箇所への参照ページも挿入され、学習の支援として工夫されている。 </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ふりかえる」「読み解こう」のコーナーには、学習した内容を要約したり、資料から読み取った事を説明したりする活動が設定されている。また、章末には言語活動に取り組む際の視点や方法が、学習内容と関わらせて例示されている。 </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の日常生活や経験と関連の深い身近な話題・内容が多く取り上げられているほか、興味・関心を喚起する写真資料が豊富に盛り込まれ、学ぶ楽しさや意欲が高まるよう工夫されている。また、歴史の学習の意義や学び方も紹介されている。 </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の歴史的な歩みや人々の暮らしと密接に結び付いた伝統・文化の多様性やその継承という観点から、多文化共生への理解と、郷土や日本への愛着を深める学習活動が重視されている。各時代の文化史の記述を充実させている。 </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化史では、代表的な事例を取り上げて、網羅的な取り扱いにならないよう配慮されている。各時代の文化を諸外国との交流の中で学び、これらの学習を通して、我が国の歴史の大きな流れを確実に理解できるよう工夫されている。 </div>
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○資料が豊富に掲載され、出典と併せて視覚的にとらえやすく配置されている。本編の資料の通し番号と、本文中の資料番号がつながるように示されている。 ○歴史年表は原始・古代から現代までの全時代を一覧できる両開きの折り込みページで構成され、時代の大きな流れや現在からの距離をつかみやすいよう工夫されている。

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">中学 歴史 日本の歴史と世界</p> <p style="text-align: right;">35 清水</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○単元構成は、学習指導要領の目標・内容に沿って構成されている。目次でマークの意味を説明し、教科書の活用方法などが示されている。冒頭の「Yチャートにまとめながら話しあおう」では、グループ学習の方法が紹介されている。</p> <p>○図版などの資料には、適宜説明があり、また、興味付けや学習の手掛かりとなるように、読み取るための問いも掲載されている。</p>	
<p>特色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○見開きページの構成は、左上に「学習課題」、本文、右下に「まとめてみよう」で、学習の流れがわかるよう配慮されている。巻末の人物さくいんでは、小学校での既習人物をイラストで示し、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「まとめてみよう」で本学習課題に対しての思考力、判断力、表現力を育成する言語活動を時間毎に設定し、「深めよう」でその内容を深化させている。また、章末のまとめや「もっと知りたい歴史」「歴史のとびら」では課題が設定されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○章初めの資料に吹き出しを付け、各見開きで「学習課題」を設定し、主体的に学習できるよう構成されている。また、章末のまとめにより、基礎的・基本的な学習内容が身に付けられるよう工夫されている。</p> <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> <p>○神話や伝承、仮名文字、人物伝、留学生などの素材をもとに、我が国の伝統や文化の特色及び世界に与えた影響を様々な視点から提示することで、歴史への愛情を育成できるよう構成されている。</p> <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> <p>○各章の冒頭に関連する資料が掲載されている章扉（導入）、末尾に年表などが記載されている学習のまとめが配置され、大きな歴史の流れや時代の特色、時代の移り変わりを理解できるよう工夫されている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○本文の記載を補完する写真や概念図などの資料が、詳しい解説とともに豊富に適切な個所に配置されている。また、学習内容と関連のある世界地図は大きく掲載されており、学習しやすいよう工夫されている。</p> <p>○章末のまとめでは年表が用いられ、どの生徒にも歴史の大きな流れがつかめるよう配慮されている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○写真や図版は、印刷が鮮明で見やすく、図表や文字などにユニバーサルデザインを取り入れ、さらに、各時代のページは、色ごとに区分するなど工夫されている。</p> <p>○各見開きのデザインは、本文、資料、側注などが統一したレイアウトで配置され、誌面の使い方が統一されており、学習しやすいよう配慮されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○学習指導要領の内容の区分や順序に準拠し、見開き1時間の紙面を、「学習課題」、基礎的内容と発展的内容をよく盛り込んだ本文、本時の学習をふりかえる「まとめてみよう」で構造化され、基礎的・基本的な知識や技能が身に付くよう配慮されている。</p> <p>○用語はその背景がわかるように説明され、また、世界史との関連も系統的に詳しく記述されるなど、学習内容の習得がさらなる興味・関心を抱くよう配慮されている。</p>	

書名 項目	<h2 style="margin: 0;">社会科 中学生の歴史</h2> <h3 style="margin: 0;">日本の歩みと世界の動き</h3> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">46 帝 国</div>
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<p>○単元構成は、学習指導要領の目標・内容に沿って構成されている。冒頭の「ようこそ！タイムトラベルへ」と「この教科書の学習の仕方」で、教科書の構成や活用方法などを紹介し、学習の見通しがもてるよう工夫されている。</p> <p>○図版などの資料には、適宜「資料活用」のマークがあり、資料に関する学習や注意すべき点が示されている。</p>
特 色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○見開きに「学習課題」「資料活用」「確認しよう」があり、学習の流れがわかるようになっている。また、本文中の用語に脚注が多数あり、その用語の解説ページや用語と資料との関係性など、一目でわかるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○見開きの下の「確認しよう」で本時の学習で習得した基礎的な学習事項を振り返り、その上で「説明しよう」で「学習課題」に対する思考力、判断力、表現力を育成する言語活動が毎時間行えるよう設定されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○各ページに中学生のキャラクターが登場し、疑問や発問を投げかけ、「学習課題」に主体的に取り組めるよう工夫されている。また、見開きの構成は、生徒だけでも予習・復習ができるよう配慮されている。</p> <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> <p>○見返しの「日本各地の伝統行事と祭り」では、祭りの担い手にも注目できるよう紹介されている。また、本文でも文化を形成した人々の活動や担い手となった人々の努力や工夫にも触れ、我が国の伝統や文化へのより深い理解を促している。</p> <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> <p>○各時代の構成と展開を「タイムトラベル」「本文」「時代をふりかえって」「学習をふりかえろう」の流れにすることによって、その時代を大観し、時代の特色を捉えられるよう工夫されている。</p>
資 料	<p>○章初めにある見開き「タイムトラベル」で学習する時代をイラストで示し、これから学習する時代を理解しやすくなるよう工夫されている。また、文化史のページを原則4ページで構成し、写真資料が多数掲載されている。</p> <p>○巻末の年表は、生徒が理解しやすいようにイラストが配置されており、「日本と海外の交流」の項目を設け、世界とのつながりも一目でわかるよう構成されている。</p>
表記・表現	<p>○ワイドな判型の為、写真や図版が大きく、印刷が鮮明で見やすく、グラフなども落ち着いた色調で、ページ右端には各時代を色で区分できるよう工夫されている。</p> <p>○見開きタイトル、本文、図版タイトルなどには、文字を読みやすくし、誤読を防ぐためユニバーサルデザインフォントが使用されている。</p>
総 括	<p>○単元構成は学習指導要領の内容の区分や順序に準拠し、見開き1時間の紙面を、疑問が浮かぶ「導入資料」、「学習課題」、わかりやすい本文、本時の学習のまとめである「確認しよう」「説明しよう」で構造化し、学習の到達点が明確に示されている。</p> <p>○現代の社会的課題を歴史的にとらえる「羅針盤」のコラムを34か所に配置するなど、多面的・多角的な視点から学習を行えるよう工夫されている。</p>

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">中学社会 歴史的分野</h1> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 116 日 文 </div>
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり	○学習指導要領に準拠し、厳選された歴史的事象を多面的・多角的に考察することによって、各時代の特色をとらえ、我が国の歴史の大きな流れを理解できるように構成されている。 ○「時代の特色」をとらえられるように、学習のねらいを定め、「導入」が設定されている。また、平易な表現で歴史の流れや因果関係が丁寧に示されている。
特 色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> ○図版には「言語活動コーナー」を添えて、読み取りに有効な視点が示されている。また、実物の大きさを示したり、実物大で掲載したりして教材価値を高め、資料を読み取る生徒の意識を喚起し、資料活用の技能の向上を図るよう工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> ○「言語活動コーナー」や「学習の確認と活用」のように毎時間、言語活動が設定されており、生徒がわかったことを自分の言葉で表現するアクティブ・ラーニングができる構成となっている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> ○身近な地域の歴史を調べる学習として、「でかけよう！地域調べ」が設定され、歴史の学習を楽しく、豊かにする作業的・体験的な学習例が豊富に紹介されている。活動例も具体的に示されており、参考にできるよう配慮されている。 <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> ○地域の具体的な事例との関わりの中なかでわが国の歴史を理解させようとしている。また、取り上げられた事例は、わが国の歴史について親近感と理解を深めることができるテーマで設定されている。 <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> ○各時代の特色や時代の転換にかかわる基礎的・基本的な歴史的事象を重点的に取りあげ、わが国の歴史の大きな流れを的確におさえられるように、学習材が設定されている。
資 料	○図版には番号を付すとともに、本文にも関連する図版番号が添えられており、本文と図版を関連して読み取ることができるよう工夫されている。 ○系図や地図・グラフ等の図版類は、カラーバリアフリーに配慮されているとともに、形や模様、線の種類など、色以外の情報でも識別できるよう配慮されている。また、目次から巻末折込年表にいたるまで、時代の色が統一して示されている。
表記・表現	○丁寧な解説をした側注も充実し、振り返りと広がりを意識した参照ページが随所に付され、内容理解の促進が図られている。 ○文字は適切な大きさや行間が考えられ、視認性の高さで実績のある書体が使用されている。
総 括	○全体を「歴史のとらえ方」「古代までの日本」「中世の日本」「近世の日本」「近代の日本と世界」「現代の日本と世界」の6編構成とし、詳細な学習に陥ることがないように、学習内容の構造化と焦点化が図られている。 ○108時間の授業時数で学習が完結できるようにしており、これは学習指導要領が示す歴史的分野の授業時間数130時間に当たる内容として妥当な分量である。

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">新版 新しい歴史教科書</p> <p style="text-align: right;">225 自由社</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○単元構成は、学習指導要領の目標・内容を踏まえて構成されている。目次のページの中に「この教科書の構成と特徴」が記載されており、教科書の活用方法が示されている。</p> <p>○図版などの資料には、適宜説明があり、興味付けや学習の手掛かりになるようにしている。また、国宝や重要文化財はわかりやすくマークで示されている。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特色</p>	<p>内 容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○見開きは、左側に「学習課題」、本文、右下に「まとめにチャレンジ」の構成になっており、本時の学習の流れがわかるようになっている。また、本文には脚注や関連ページが示され、生徒が学習する際の便宜が図られている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「まとめにチャレンジ」で学習課題に対しての思考力、判断力、表現力を育成する言語活動が時間毎に設定されている。また、章末のまとめでは、書く課題、話し合う課題などを設け、多様な言語活動を促している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○章初めに中学生のキャラクターが登場し、疑問や発問を投げかけ、章のまとめでは、中学生とその兄（姉）が登場し、会話文でその時代の特徴を示すなど、生徒が興味・関心をもって学習できるよう工夫されている。</p> <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> <p>○表紙見返しの「日本の伝統的工芸品」、神話や伝承、「もっと知りたい」「人物クローズアップ」などのコラム等によって、我が国の伝統や文化、歴史への愛情、日本人の国民性を理解できるよう工夫されている。</p> <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> <p>○各章の冒頭に章扉、末尾に学習のまとめが配置され、大きな歴史の流れや時代の特徴、時代の移り変わりを理解できるよう工夫されている。また、生徒が時代の特徴をつかみやすいよう、章末の覚えるべき重要用語が15に厳選されている。</p> <p>資 料</p> <p>○本文の記載を補完する、写真や図版などの資料が、詳しい解説とともに配置されている。また、仏像の見方など、我が国の伝統と文化をより深く理解するための資料が掲載されている。</p> <p>○本文と資料の関係性が見てわかるよう、本文でふれた事項の資料は同じページに掲載するなど、配置が工夫されている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○写真や図版の印刷が鮮明で見やすく、グラフなども落ち着いた色調に設定されている。また、各時代のページは、色ごとに区分され示されている。</p> <p>○生徒にとってのわかりやすさに重点をおき、文字は読みやすい大きさとし、本文中の側注の記載も十分で、関連事項を見つけやすく工夫されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○見開き1時間の紙面を、学習課題、本文、学習の振り返りである「まとめにチャレンジ」の流れで構成し、基礎的・基本的な知識や技能が習得できるよう構成されている。</p> <p>○95の学習課題と単元の内容を深化させる35か所の特設ページは、学習指導要領が示す130時間に準拠しており、歴史を網羅的に学ぶのではなく、興味・関心を持ち、意欲的に学習できるよう配慮されている。</p>

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">[新編] 新しい日本の歴史</p> <p style="text-align: right;">227 育鵬社</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○学習指導要領の目標・内容・内容の取り扱いに則して、歴史の大きな流れを把握するための基礎的・基本的な事項が取り上げられている。</p> <p>○教材・資料は厳選されたもので、生徒がわが国の歴史に対する理解と愛情を深めるとともに、さまざまな歴史的事象を多面的・多角的に考察することができるよう工夫されている。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特色</p>	<p>内 容</p> <p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫＞</p> <p>○判型がワイド版（AB版）にされ、本文・図版・資料が充実している。また、先生が示しやすく、生徒が確認しやすい「図版番号」が付されている。重要語句、重要人物は、本文・索引ともにわかりやすく太字のゴシック体で示されている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○見開きごとに「学習のまとめ」が設定され、毎時間の学習の中で無理なく生徒の思考力・判断力・表現力を育む工夫がされ、各章の「学習のまとめ」では、学習内容を活用し、歴史を大観し、表現活動を通して生徒の力を養うよう工夫されている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○各章及び各単元の導入には問題提起となる発問等をおき、生徒が興味・関心を高めながら課題に取り組んだり、学習を進めたりできるよう配慮されている。また、各章のはじめには、「歴史絵巻」により、流れや特色をとらえるよう工夫されている。</p> <p>＜我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫＞</p> <p>○生徒が、自分の生活とわが国の歴史との密接なつながりに気付き、「他人事の歴史」から、自分とつながりのある「自分事の歴史」へと理解が深まるような紙面構成によって、わが国の歴史に対する愛情を育めるよう配慮されている。</p> <p>＜我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫＞</p> <p>○“鳥の目”で歴史の流れの大観を意識し、各章の冒頭に各時代の歴史の大きな流れが一目でわかる「歴史絵巻」が設けられている。また、“虫の目”で時代の特色をつかむことから、「○○世界へようこそ！」で時代の特色の理解を促している。</p> <p>資 料</p> <p>○学習指導要領に沿って、生徒が無理なく、興味をもって学習していけるよう構成されている。また、図表類、写真には適宜、理解を深めるために解説を示すなど、有効な資料活用できるよう工夫されている。</p> <p>○図版やイラスト、写真資料など生徒が視覚的にも大いに興味をもって取り組めるよう工夫されている。また、巻末には詳しい「年表」が掲載されている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○生徒にとってのわかりやすさに重点をおき、文字は読みやすい大きさとし、固有名詞などには適宜ふりがなを振り、丁寧に示されている。</p> <p>○写真は鮮明なものを掲載し、図表・図解資料は明るくメリハリのある色彩デザインにするなど、美しく見やすい紙面構成になるよう工夫されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○単元構成は、学習指導要領の内容（1）～（6）の区分に準拠して六つの大単元を設定し、学習しやすく配列されている。また、生徒の発達の段階、年間配当時間等にも配慮し、さらに公民の学習、及び道徳教育との関連も図られている。</p> <p>○各学校や地域の実態に応じて、「課題学習」「人物クローズアップ」「歴史の名場面」「歴史ズームイン」などの学習に取り組む際には、柔軟な時数の運用ができるよう工夫されている。</p>

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">ともに学ぶ人間の歴史</p> <p style="text-align: right;">229 学び舎</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○単元は、学習指導要領の目標・内容を踏まえ構成されている。冒頭の「この教科書の学習の仕方」で、教科書の構成や活用方法などを紹介し、「歴史への案内」で学習に対する興味・関心を喚起するよう工夫されている。</p> <p>○生徒が自主的・自発的に疑問をもち、主体的に教室で学びあえるように配慮して、図版などの資料が掲載されている。</p>	
<p>特色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○教科書の記述は、生徒が学習の際に、本文を読み進め、図版を読み解いていくことによって、問いや疑問をもつことを想定している。生徒自身がこの問いや疑問に自らかかわることで、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○教科書を読み解くことによって言語活動の裾野を広げ、歴史的事象を自分の言葉で表現しながら意欲を喚起するよう工夫されている。特設ページの「歴史を体験する」を6か所設け、言語表現を培う場面の充実が図られている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○授業は生徒一人一人の主体的な問いかけから始まるとの考えのもと、見開き左上に学習課題となる図版や文章「フォーカス」を掲載し、生徒が多様な視点の疑問や意見を出せるよう工夫されている。</p> <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> <p>○文化や伝統は、人々の生活や営みの中から生み出され、継承されるとの理解のもと、文化遺産の名前や作者だけでなく、文化を生み出した人々の願いや社会的背景を具体的に示すよう工夫されている。</p> <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> <p>○歴史の具体的な場面やその時代を生きる人々の姿を通して、各時代の特色を理解できるようになっており、このような学習の積み重ねを通して、生徒自身が歴史の大きな流れを捉え、歴史像をイメージできるよう工夫されている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○見開き左上のメイン図版で学習課題を示し、見開き右の図版で授業の展開を豊かにするよう工夫されている。また、指導者層のみならず、子供、女性、市民の人々など様々な視点からの資料が掲載されている。</p> <p>○生徒が授業で資料に接した時に、資料の説明は、必要最小限度にとどめ、多角的・多面的な見方ができるよう工夫されている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○ワイドな判型の為、写真や図版が大きく、印刷が鮮明で見やすい。本文では、太文字・指示をなくし、学習する学年に応じた内容や漢字が使用されている。</p> <p>○学習する学年によって漢字の表記を変え、漢字が読めないために学習の入口でつまづく生徒を減らすよう配慮されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○全体を「歴史への案内」、原始・古代から現代までを六つの「部」とし、その「部」を「章」にわけ、時代の特徴を捉えやすくしている。巻末の年表に20ページを割り、「部」との関連が図られている。</p> <p>○発達の段階に応じてしっかりとじっくり読み通せる本文の文章や図版などの資料を通し、多様な問いを提示し、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。</p>	

埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会専門員社会科（公民的分野）調査の観点

項目	観 点
教育基本法、学校教育法の下の中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○現代社会についての見方や考え方の基礎を養うため、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させるために、どのような工夫が見られるか。</p>
特 色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○基礎的・基本的な知識、概念や資料活用の技能の確実な定着を図るために、どのような工夫が見られるか。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○社会的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断することができるようにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○調べたことや考えたことを適切に表現できるようにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○現代の社会的事象に対する興味・関心・学習意欲を高め、進んで学習を行えるよう、どのような工夫が見られるか。</p> <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <p>○民主主義に対する理解を深めさせるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p><国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培うために、どのような工夫が見られるか。</p>
資 料	<p>○学習効果を高めるため、資料にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○資料の配置、資料と本文との関係には、どのような工夫が見られるか。</p>
表記・表現	<p>○生徒の理解を高めるため、表記・表現（見出し、記号、用語、脚注など）に、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○特別支援教育の視点から、障害その他の特性の有無にかかわらず生徒にとって読みやすくするため、どのような配慮がなされているか。</p>
総 括	<p>（全体的な特徴、その他）</p>

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">新編 新しい社会 公民</p> <p style="text-align: right;">2 東 書</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○現代の政治の単元とは別に「個人の尊重と日本国憲法」という単元が独立して設定されているため、私たちのもつ権利や自由についてより深く学習することができるよう配慮されている。</p> <p>○現代社会についての見方や考え方を育成するにあたって、生徒自身が今おかれている状況とのかかわりをもたせるためのイラストが豊富に掲載されている。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○章のはじめに、小学校での既習事項の語句がまとめて掲載されており、前提知識として身に付けておかなければならないことが明確になっていることで、学習に取り組みやすく、基礎的・基本的な知識の定着も図ることができるよう配慮されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○毎ページの右下に学習した内容をまとめるための設問があり、ここに具体的な語句が示されている場合も多く、生徒が学習内容を自分で改めて整理しやすいよう工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○毎ページの左上にある資料に関連して、男の子や女の子のイラストがあり、その吹き出しの内容が、生徒が興味や関心を持ちやすく、わかりやすい内容になっているため、生徒自身もその視点で学習に取り組めるよう配慮されている。</p> <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <p>○「インタビューコラム」を新設し、実際に社会に参画している人々の姿から、自らの在り方・生き方やキャリア形成について考えられるよう配慮されている。国民の社会参画について、具体的な事例を通して理解できるよう工夫されている。</p> <p><国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○中学生が積極的に社会に関わっている姿を紹介したり、身近な地域に目を向けた調べ学習の事例を紹介したりすることで、積極的に社会参画をしていく資質と能力を養えるよう工夫されている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○教科書の導入となる見返しや、各単元での導入では、学習内容に関連する写真を豊富に掲載し、学習への関心や意欲を高められるよう配慮されている。本文の記述を補完する写真・グラフ・地図などの資料を豊富かつ効果的に配置し、資料を読みとる視点を適切に示唆することで、読み取りや解釈を通して、思考力や判断力を身に付けられるよう配慮されている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○地図やグラフではカラーバリエーションに配慮し、読み取りやすいゴシック体の振り仮名を振るなど、すべての生徒が無理なく安心して学習できるよう配慮されている。</p> <p>○資料には見開きごとのまとまりで通し番号を付け、対応する本文の上に当該の図番号</p>
<p>総 括</p>	<p>○全体は6章で構成され、その章の中に節という単位の設定があり、生徒が学習を進めていくうえでの混乱が少なくなるよう工夫されている。</p> <p>○実際の社会と学習内容を結び付けて考えることのできるような資料やコラムのページが多く設定されているため、生徒の思考や理解をより深めやすい。巻末の法令も非常に見やすく構成されている。</p>	

<p>書名 項目</p>	<p>中学社会 公民 とともに生きる 17 教 出</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○各題材のタイトルがその権利とは何かをあらわして、副題として権利の名前が付いている。分かりにくい「権利」というものをより正確に理解させるよう工夫されている。</p> <p>○「国家」という視点で国際社会について考えることで、国民としての意識を育むよう工夫されている。</p>	
<p>特色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○各ページの「ふりかえる」が段階的に学習内容を確認するものになっており、特にステップ1は、基礎的な内容が確認されている。その題材ごとに何が学習できていなければならないのか、生徒自身に理解させるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「学習のまとめと表現」とあるように、単元の最後の学習内容の確認のページの中に「表現」という視点で考えられた設問がある。生徒の学習内容の整理に役立つものであり、表現することでさらに思考を深めるよう工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「言葉で伝え合おう」という項目が6テーマ設定されており、それぞれディベートやポスターセッションなど、活動の内容が段階的に構成されている。実社会の中で必要な「伝える力」を育むとともに、学習への関心を喚起するよう工夫されている。</p> <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <p>○暮らしの中の社会的事象と照らし合わせて、基本的な制度や社会のしくみへの理解を深めていくよう工夫されている。現代の社会で取り上げられるキーワードを解説し、日々のニュースなどを読み解く力を養うことができるよう配慮されている。</p> <p><国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○「読んで深く考えよう」「言葉で伝え合おう」のコーナーでは、今日的なテーマが豊富に掲載されている。中学生の様々な活動・体験場面が掲載され、将来の主権者としての公民的資質を養えるよう配慮されている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○社会科学学習に必要な写真・イラスト・地図・グラフ・図解などの資料が豊富で、出典と併せて視覚的に捉えやすくなっている。各資料には、指示しやすいように通し番号が付けられ、本文中にも関連が分かるよう資料番号が示されている。</p> <p>○巻頭・巻末、各章の冒頭に、生徒の興味・関心を高める写真資料が多く、学習効果を高めるよう工夫されている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○学習の導入から、課題の設定と追究、まとめに至る構成が一貫して学習事項の確実な定着を図るよう構成されている。固有名詞には仮名が付されている。</p> <p>○側注や巻末には「用語解説」があり、日本国憲法の条文に言葉の解説を付け、読解に負担がかからないよう工夫されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○1時間の授業を見開き2ページで構成し、左上の部分に、学習の導入または中心となる資料を配置し、そこに学習課題が明示されていて、学習を展開していくことで、授業の流れや学習の見通しをもちやすい構成となっている。</p> <p>○個に応じた学びへの対応や社会の形成に参画する態度を養うためのコラムが豊富に掲載されていて、生徒が課題意識をもって学習に取り組めるよう工夫されている。</p>	

<p>書名 項目</p>	<p>中学 公民 日本の社会と世界</p> <p style="text-align: right;">35 清水</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○自由権や平等権についてはそれぞれ4ページにわたって取り上げられており、内容も詳しい。生徒にも自由や平等の重要さが伝わりやすく構成されている。</p> <p>○現代社会についての単元が序章として記載されており、読み物として非常に興味深いものになっている。公民の学習の始まりとして、生徒の興味・関心を引き出すよう工夫されている。</p>
<p>特色</p>	<p>内 容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○生徒にとって理解が難しそうな語句やテーマについて、教科書本文とは別に取り上げる工夫がされていて、教科書本文そのものの理解を深めることができるよう配慮されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「深める公民」が11項目設定されており、学習した内容をふまえて生徒の考えや意見をまとめさせるという点で、わかりやすいテーマが設定されている。特に人権の単元では、生徒の思考を深めるテーマが設定されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「深める公民」では、「なぜ」や「なんだろう」と思わせることで、新たな課題を自分で発見し、それについて主体的に学習をするという態度を養えるよう工夫されている。</p> <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <p>○人権の尊重が民主的な社会生活の基本であるという認識に立って、全編を通し、個人と社会の関わりを鋭い人権意識に基づいて考えさせるという基本姿勢が貫かれている。そして個人の尊厳と人権尊重の精神を培えるよう配慮されている。</p> <p><国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○学習の締めくくりとして、地球的規模の課題の解決と人類の福祉の増大、世界の平和の実現に向けて、市民の一人として、未来の社会の一員として主体的に取り組んでいく姿勢を培うよう配慮されている。</p> <p>資 料</p> <p>○写真・図版などを4色刷として視覚効果を高め、生徒の興味・関心や理解を深められるよう配慮されている。本文を補完する資料が豊富に掲載されている。</p> <p>○「深める公民」「もっと知りたい公民」のコーナーの資料は、社会的事象や現代的課題について多面的・多角的に考察を行うとともに、作業学習や調べ学習ができるよう工夫されている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○具体的な解説や補足が必要な箇所には、注を設けて丁寧に説明されている。難解な語句などには仮名を振るなど、生徒の立場を考慮して表記されている。</p> <p>○本文中には、本文記述の関連事項の参照や巻末資料への参照を入れ、学習が有機的に展開できるよう工夫されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○一單元ごとに一つのテーマを設定し、導入部で具体的な問いかけをすることで学習のねらいを明確にして構成されている。また、各章への導入として、学習内容と深く関わる人物がクローズアップされていて生徒の興味・関心を引き出す構成となっている。</p> <p>○学習内容をさらに深めるとともに、特設ページが配置されていて、作業学習・調べ学習などを行うことができるよう工夫されている。</p>

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして</p> <p style="text-align: right;">46 帝 国</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○該当ページには日本国憲法の条文が記載されており、実際に自由や権利がどのようにして守られてきたのか、民主主義とのかかわりの中で生徒に正しく理解させやすく構成されている。</p> <p>○30年前との町の比較や、トライアルという項目など、主体的に考えさせるよう工夫されている。</p>	
<p>特色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○公民の基礎的な技能を身に付けさせるためのコラムが7項目あり、それが目次にも明記されているため、生徒自身に意識させるよう工夫されている。毎ページに「確認しよう」という課題があり、その題材の復習の視点が示されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「確認しよう」に示されている課題は、学習した内容を文章によってまとめるものであり、単に語句の確認ではなく、学習内容を改めて整理するという活動の中で思考力や表現力を育成しようと工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○毎ページ左上にあるクローズアップの？マークの設問が、生徒にとってわかりやすく、考えやすい設問であり、これが学習の最初に示されていることで、内容に興味をもたせやすくなるよう配慮されている。</p> <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <p>○生徒の身近な例を取り上げ、民主主義の基礎が学べるようになっている。社会に出た際に役立つ、活きた知識を身に付けることができるようにシミュレーションされた構成が随所に設けられている。</p> <p><国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○「マイクアイコン」を随所に設け、社会で実際に活動している人々の生の声を紹介し、生徒が関心を持てるよう工夫されている。特設コラム「今を聞く」「今を見る」では現代社会の新しい動きに注目させるよう配慮されている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○図版・写真・イラストはできるだけ大きく掲載し、生徒が読み取りやすく、考えることのできる資料である。学習内容に関連する事項についての参照ページ、参照資料の図番号、条文参照等のリンク機能を設け、資料の活用を促している。</p> <p>○「クローズアップ」のコーナーでは、これから学ぶ内容に関する実社会の事例を紹介する資料が掲載されている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○本文、図版タイトル、キャプションの漢字などに仮名をふり、難しい用語や熟語が正しく読めるよう配慮されている。</p> <p>○導入コラムや学習課題、資料の配置など、見開き1時間のページ構成が一貫したレイアウトとなっていて、学習しやすいよう配慮されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○全体を5部に分けて構成しており、約75時間の授業時数で学習が完結できるよう構成されている。これは、学習指導要領で示されている公民の授業時間数である100時間からみても、余裕をもって学習することができる量で構成されている。</p> <p>○写真や、生徒の活動的な学習を促す資料が多く掲載されており、興味や関心を引き出すよう工夫されている。</p>	

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">中学社会 公民的分野</p> <p style="text-align: right;">116 日 文</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○自由や権利についてのページでは、憲法や法律の条文と照らし合わせる記述が多く掲載され、権利とそれを保証する法律とのかかわりを理解させるために工夫されている。</p> <p>○「持続可能な社会」について課題を見つけることで、今までの学習をふまえて思考をまとめることができるよう配慮されている。</p>	
<p>特色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○各ページの「学習の確認と活用」の「確認」の問題が基礎的・基本的な知識や技能の確認問題となっており、学習内容がしっかり定着しているかどうか、生徒にも明確に理解できるよう構成されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「学習の確認と活用」の「活用」の問題は、基礎的・基本的な知識をふまえて思考力や表現力等を育成することが配慮されている。基礎的な事項をつなげて自分の思考をまとめ、理解を深められるよう工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○各ページに「学習課題」が明確に記載されていることで、生徒がその時間に何を身に付けなければならないのか、何を分かなければならないのか常に考えて学習に取り組むことができるよう構成されている。</p> <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <p>○教科書全体が個人の尊重の考え方を基本理念としている、学校活動などの身近な例からきまりの意義を学び、その延長線上にある民主主義の理解に基づき、憲法などを学習できるよう構成されている。</p> <p><国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○生徒の将来に生かすことができる教材や、社会参画への関心や意欲を育む教材が掲載されている。「明日に向かって」のコーナーが設けられ、社会に参画するための手がかりが示されている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○図版番号を資料にも本文にも付すことで、本文と図版を関連して読み取らせるよう工夫されている。</p> <p>○公民の学習に特有の抽象的な社会のしくみの趣旨や概念の理解を助ける資料や、身近な場面を通して本文の内容を具体的にイメージできる資料が豊富に掲載されている。親しみやすいイラストの資料も生徒の理解を促すよう効果的に掲載されている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○本文ページの左端のインデックスで生徒が学習している単元を常に確認できるようになっている。重要語句は太字で全て仮名が振られている。</p> <p>○側注の解説が充実し、振り返りと広がり意識した参照ページが随所に付され、内容理解を促すよう工夫されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○巻頭に統計資料を含む世界地図が記載されており、公民の学習をスタートしやすくしている。全体は5編構成であり、それぞれの編のタイトルには「私たちの」という単語がついている。</p> <p>○生徒が今生きている社会と、授業の中で学習する内容とを結び付けて考えさせようとする意図が全編を通して見受けられる。また、全編を通して資料が非常に豊富であり、生徒の学習意欲を引き出すよう工夫されている。</p>	

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">新しい公民教科書</p> <p style="text-align: right;">225 自由社</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○立憲的民主主義に関する考え方やしくみについて、歴史的背景を踏まえながら理解を図ることができるようにしている。</p> <p>○現代の日本についての記述が豊富であり、政治や経済の学習に入る前に、まず今生きている社会についての理解を深めるよう工夫されている。また、国際社会における日本からの視点での学習内容も多く掲載されている。</p>	
<p>特色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○教科書本文の文字のフォントが大きく、行間も広いため、本文に記載されている内容が読みやすく、また、本文の中に太字が多いため、重要な事項が分かりやすく示されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○各ページのタイトルの下に示されている設問のレベルが高く、このテーマについて考えることで、思考力や判断力等のレベルアップを図ることができるよう工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○各ページに「ここがポイント！」と明確な記載があるため、何を理解すればよいか、何を学習すればよいか分かり、生徒自身が学習に取り組みやすくなるよう工夫されている。</p> <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <p>○民主主義の基礎的・基本的な知識・理解を深める学習ができる構成となっている。国家について学ぶことについても歴史的経緯や国家の役割、そして国民の権利や国民が平等な立場で政治に参加する国家に発展するよう学べるよう工夫されている。</p> <p><国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○生徒が自主的に思考、判断、表現していくよう工夫されている。現代日本の重要な問題について、多面的・多角的に考察することができるように、対立する意見が示されている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○写真・地図・グラフ・イラストなどが豊富で、本文の学習課題と関係するものは大きく掲載されている。身近な生活や国際的な視点からの写真も充実している。</p> <p>○「もっと知りたい」「課題の探求」のコーナーでは、生徒の身近な話題や学習の仕方を学べる資料となっている。また、理解しにくい学習内容については生徒に親しみやすいイラストなどが使用されている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○難しい用語や重要語句、また現代用語にも丁寧に解説のされた側注があり、生徒の理解を促している。</p> <p>○単元の見出しの後に学習課題が明示されていて、「ここがポイント！」で学習の要点が示され、資料にも生徒の理解を助ける必要がある箇所には解説が付されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○2ページにわたる各単元の見出しの下に、その単元で何を学ぶのかを簡潔に明示しており、各章の終わりには学習したことを再確認し、さらに発展的な学習ができるページが設定されており、分かりやすい単元や章の構成となっている。</p> <p>○コラムや特設ページでは生徒の興味・関心を引き出し、補充的な学習だけでなく、発展的な学習もできるよう工夫されている。</p>	

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">[新編] 新しいみんなの公民</p> <p style="text-align: right;">227 育鵬社</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○人権問題についての記述や資料が多く、権利とは何かという学習とともに、差別について学習することで権利がいかに大切なものか分かりやすく説明されている。</p> <p>○「私」と現代社会のかかわりという視点で単元が構成されており、生徒が社会というものを身近なものとして捉えられるよう工夫されている。また、「持続可能な社会」という視点での学習内容が豊富に掲載されている。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特色</p>	<p>内 容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○「学習のまとめ」のページはおもに、基礎的・基本的な知識の確認問題であり、自分自身がどの程度学習した内容が身に付いているのかということが分かるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「理解を深めよう」という項目に記載されている内容は本文の記述よりもさらに詳しく、興味深いものが多く、学習を通して考えたことをさらにここで深めていくことができるよう工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「やってみよう」という四つの項目は、どの内容も、生徒が体験的に社会の仕組みを理解できるものとなっており、学習した内容と今自分が生きる社会とのかかわりを意識させやすく、生徒の興味・関心を喚起するよう配慮されている。</p> <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <p>○現代社会の理想と現実が分かる教材が用いられ、現代社会課題に対して、生徒自らが主体的に取り組んでいく能力・態度を養うという観点から、学習方法、調査方法、問題解決のための手がかりが示されている。</p> <p><国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○本文以外にも豊富なコラムを設け、公民的資質を養うための教材が充実している。導入部分では問題提起をし、生徒の生活経験と結び付きのある身近な事例を通して学べるよう工夫されている。</p> <p>資 料</p> <p>○図版、イラスト、写真等の資料は、本文の記述と関連付けて明確に大きく見せ、豊富に掲載されている。口絵や折り込みページは、写真や新聞記事などで生徒が視覚的にも大いに興味をもって取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○「やってみよう」「理解を深めよう」では、様々な種類の資料で生徒の興味や関心を促し、主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○分かりやすさに重点をおき、文字は読みやすい大きさと、適宜仮名を振り、丁寧に記述されている。難解な法律用語等には補足をつける等配慮されている。</p> <p>○概念的な学習内容には、生徒の理解を助けるために適宜イラスト等を用いて表現されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○見開き1単位時間の紙面で、「つかむ」→「調べる」→「まとめる」の紙面構成になっていて、学習の流れが明確で生徒が興味をもって取り組み、基礎的・基本的な知識の定着を図ることができるよう工夫されている。</p> <p>○現代社会への興味・関心を高めるため、「他人事」を「自分事」としてとらえるための教材や、豊富な資料・コラムで多面的・多角的な考察力や表現力を養うよう配慮されている。</p>

埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会専門員社会科（地図）調査の観点

項目	観 点
教育基本法、学校教育法の下の中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○地理的な見方や考え方の基礎を培うために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○地域的特色や地域の課題をとらえさせるために、どのような工夫が見られるか。</p>
特 色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○基礎的・基本的な内容を習得させるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○地図の読図や作図、景観写真など地理的な技能を身に付けられるよう、どのような工夫が見られるか。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○社会的事象を適切に見たり考えたりする能力を育てる効果的な地図の活用という観点から、どのような工夫が見られるか。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○日本や世界の地理的事象に対する興味・関心・学習意欲を高め、進んで学習を行えるよう、どのような工夫が見られるか。</p> <p><地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫></p> <p>○日本や世界の地域の諸事情を位置や空間的な広がりとのかかわりでとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p><我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫></p> <p>○我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養うために、どのような工夫が見られるか。</p>
	<p>資 料</p> <p>○さし絵、写真、図表等、資料のレイアウトにどのような工夫が見られるか。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○生徒の理解を高めるため、言語や記号・用語・単位などの使い方にはどのような工夫が見られるか。</p> <p>○読み取りやすいように地図中の地名表記や色彩・配色、土地利用や等高線などに、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○特別支援教育の視点から、障害その他の特性の有無にかかわらず児童にとって読みやすくするため、どのような配慮がなされているか。</p>
総 括	(全体的な特徴、その他)

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">新編 新しい社会 地図</p> <p style="text-align: right;">2 東 書</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○「西アジア・環地中海」や「江戸時代の大阪」の地図、「環境問題」「国際協力」「防災・安全」についての資料など、歴史や公民の学習でも幅広く活用できるような内容で構成されている。</p> <p>○特に世界のアジア、ヨーロッパ、北アメリカ、日本の三大都市圏については多くの資料を掲載して、より多角的・多面的に捉えられるよう配慮されている。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○巻頭に「この地図の地図記号・活用方法」を設け、具体的な活用例を示すことで活用しやすくしている。世界の一般図では、国名や主要都市名、自然地名などの基本的な情報を取り上げ、地域の特徴的な事象を「注目したい記号」の形で示すことで地域の特色がつかめるよう配慮されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成させる工夫></p> <p>○世界の各州、日本の各地方の「テーマ資料」では、学習テーマや追究テーマに沿って学習する際に活用できる資料を豊富に掲載し、多面的・多角的にとらえられるよう工夫されている。また、キャラクターの吹き出しに資料のポイントや考察の視点を示し、学習の手がかりがつかめるよう配慮されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○巻頭に「この地図の地図記号・活用方法」を設け、地図帳の構成要素を解説し、具体的な活用例を示し、主体的に学習へ取り組めるよう配慮されている。巻末の「資料さくいん」では地形や気候などの分類ごとに資料の種類やページを掲載して検索性を高めたり、ご当地キャラクター等を取り上げたりして関心が高まるよう配慮されている。</p> <p><地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫></p> <p>○教科書の本文や資料を補完したり、より深めたりする資料を豊富に掲載し、多角的・多面的な考察ができるよう配慮されている。また日本の一般図には全ての都道府県名、市町村名や主要な自然地名が掲載されており、巻末の索引にも全市町村名が掲載され基本的な情報もれなく探せるよう配慮されている。</p> <p><我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫></p> <p>○日本・世界の主要都市名、自然地名、特産物など、さまざまな情報を地図上に掲載し、幅広い知識や教養が身に付くよう配慮されている。また歴史的な結び付きが強いヨーロッパ・アフリカや環太平洋・環インド洋を同じ一般図に掲載するなど地域的なつながりを配慮した範囲の一般図を掲載し地球の姿をとらえやすくしている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○日本との結び付きが特に強いアジア、ヨーロッパ、北アメリカの各州には、データを基にした鳥瞰図を見開きで大きく掲載し、興味・関心をもって学習できるよう配慮されている。また、写真資料も豊富に掲載されている。</p> <p>○地理的分野の世界や日本の諸地域学習とともに歴史や公民の学習にも活用できる資料を豊富に掲載し、「ジャンプ」で関連資料があるページが示されている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○すべてのページにインデックスを付いたり、タイトルとともに「注目したい記号」として地域の特色をつかむ視点を掲載して活用しやすく工夫されている。</p> <p>○日本の一般図は等高段彩の100万分の1地勢図を8地方区分で掲載し、すべての政令指定都市を網羅した50万分の1拡大図には土地利用が示されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○世界の州、日本の地方は、いずれも「一般図」「基本資料」「テーマ資料」という配列で構成され、教科書の本文や掲載資料との連携が図られている。表現も鳥瞰表現が多用され理解しやすく、印刷は鮮明で、細かな文字まで読み取りやすい。</p> <p>○タイトルの位置などスタイルが統一され、読図がしやすいよう配慮されている。</p> <p>○レアメタルやハザードマップを掲載するなど今日的な課題にも対応した内容で構成されている。</p>	

書名		4 6 帝 国
項目	中学校社会科地図	
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<p>○世界は州ごと、日本は地方ごとに構成されているが、歴史や公民の学習でも幅広く活用できるような資料がもりこまれた内容で構成されている。</p> <p>○国土理解及び国際理解のために日本・世界各地における自然環境、人口、産業などを、最新の状況もふまえて掲載し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう配慮されている。</p>	
特 色	内 容	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫＞</p> <p>○基本的な見方・使い方がわかりやすく解説された「地図帳の使い方」ページが巻頭に、また地図活用の技能が身に付くよう地図の着眼点を示したコーナー「地図を見る目」、地図から読み取る学習活動や言語活動を促すコーナー「やってみよう」が随所に設けられている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成させる工夫＞</p> <p>○学習上重点が置かれる中国、ヨーロッパ、北アメリカには、生活、産業、著名な建築物などのイラストを配した見開きの大鳥瞰図があり、地域の特色を視覚的かつ多面的・多角的にとらえられるよう工夫されている。また、実際の地形図を取り上げ作業を通して地形図の見方が身に付けられるコーナーが設けられている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○地図の使い方のページに親しみやすい中学生のキャラクターが用いられ、気付きや学習の手がかりなどを提示することで主体的に学習へ取り組めるよう配慮されている。また「やってみよう」のコーナーが随所に設けられたり、統計資料やさくいんが充実しており、主体的な学習に活用できるよう配慮されている。</p> <p>＜地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫＞</p> <p>○学習指導要領地理的分野の、世界の諸地域学習における「主題」および日本の諸地域学習における「考察の仕方」について対応できるように、また地域の特色が偏らずに理解できるように多角的・多面的に資料が選定されている。地名のさくいんは日本ではすべての市町村名が取り上げられ読み方も分かるように掲載されている。</p> <p>＜我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫＞</p> <p>○日本・世界の自然、産業、歴史など、さまざまな情報を地図上に掲載し、空間認識をともなった幅広い知識や教養が身に付くよう配慮されている。さらに等高線を入れたり土地利用表現にしたりする事で土地の高さや各地のくらしの様子を読み取れるようにし、世界各地と日本とのつながりを示した資料も多く掲載されている。</p>
	資 料	<p>○日本と関わりの深い東アジア、ヨーロッパ、アメリカ合衆国では大きな鳥瞰図を設け、興味・関心をもって学習できるよう配慮されている。また、人権教育や異文化理解にもつながるよう、言語、宗教、民族などの資料が掲載されている。</p> <p>○土地利用表現の色の下に模様（地紋）が入っており、色の違いを判別しやすくしている。また陸高の違いを読み取りやすいように薄緑色で等高線が示されている。</p>
	表記・表現	<p>○世界の国々と日本の大きさや、緯度による位置関係の比較ができるよう、世界地図には随所に同緯度・同縮尺の日本地図が掲載されている。</p> <p>○日本の拡大図（地方別地図）は八地方に区分され、各地方の様子が読み取れるよう100万分の1の縮尺で統一されている。</p>
	総 括	<p>○世界の州、日本の地方はいずれも、地域の特色を具体的に読み取れるよう「一般図」「概観図」「資料図」という配列で構成され、表現も積極的に鳥瞰表現が多く使用されている。</p> <p>○印刷は鮮明で、図・写真ともに細かな文字まで読み取りやすく各見開きのタイトルや凡例の位置など、スタイルが統一され、読図がしやすいよう配慮されている。</p> <p>○防災や環境など今日的な課題にも対応した内容で構成されている。</p>

埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会専門員数学科調査の観点

項目	観 点
教育基本法、学校教育法の下の中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則について理解を深めるために、どのような工夫が見られるか。 ○数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるために、どのような工夫が見られるか。 ○数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てるために、どのような工夫が見られるか。
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則について理解を深め数学的な表現や処理の仕方を習得させるために、どのような工夫が見られるか。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○推測したり、見いだしたり、説明したりする力を高めるためにどのような工夫が見られるか。 ○様々な事象を数理的に考察し、表現する能力を高めるためにどのような工夫が見られるか。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒が数学を学ぶ意欲を高めたり、学ぶことの必要性や有用性を実感したりできるようにするためにどのような工夫が見られるか。 <p><数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○数学的活動に主体的に取り組むことができるようにし、数学を学ぶ過程を大切にするためにどのような配慮がなされているか。
	<p>資 料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習効果を高めるため、資料にどのような工夫が見られるか。 ○さし絵、写真、図表等、資料のレイアウトにどのような工夫が見られるか。
	<p>表記・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の理解を高めるため、言語や記号・用語・単位などの使い方にどのような工夫が見られるか。 ○特別支援教育の視点から、障害その他の特性の有無にかかわらず生徒にとって読みやすくするため、どのような配慮がなされているか。
総 括	(全体的な特徴、その他)

<p>項目</p> <p>書名</p>	<p style="text-align: center;">新編 新しい数学</p> <p style="text-align: right;">2 東 書</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○具体的な事象と結び付けて考察できる学習展開になっており、数学を学ぶ楽しさを実感させながら、生徒の主体的な学習を通して、数量や図形などに関する基礎的な知識や数学的な思考力・表現力を養うことができるよう工夫されている。</p> <p>○小学校の学習内容や指導の系統性を踏まえ、多く見られる誤答を取り上げるなど、つまづきへのきめ細かな対応で、学習内容の定着が図られるよう工夫されている。</p>
<p>特 色</p>	<p>内 容</p> <p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫＞</p> <p>○「例」と「問」の間に「たしかめ」が設けられており、その内容は「例」の同等の難易度にし、基礎的・基本的な事項が確実に身に付くよう工夫されている。</p> <p>○「まちがい例」は、同じ誤りを繰り返させない工夫であり、「ちょっと確認」は、既習事項の定着不十分な内容を振り返らせるよう工夫されている。</p> <p>○節末の「基本の問題」は、本文の「例」に戻って確認できるようになっている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成させる工夫＞</p> <p>○すべての節の導入に「数学的活動Q」を設定し、事象の性質を見いだしたり、数学を利用したり、数学的に説明し伝え合ったりする活動を促している。</p> <p>○「学び合い」のページでは、全て右ページで始まるように構成し、多様な考えを引き出し、自力解決の際に考えの例が見えないよう工夫されている。また、側注に問題解決の進め方が示され、学習活動の展開が分かるよう工夫されている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○「数学マイノート」では、「学び合い」の学習活動を振り返ってまとめたノート例が示されており、自分の考えを書く活動が充実するよう工夫されている。</p> <p>○学習のまとめ（節や章）ごとに学習課題を明示し、「数学の窓」では興味関心を促す内容が取り上げられている。</p> <p>＜数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫＞</p> <p>○章末および巻末の「活用の問題」では、全国学力・学習状況調査B問題の類題を取り上げ、数学を活用して調べたり、判断したりする内容が取り上げられている。</p> <p>○巻末の「社会とつながる」「数学をひろげる」「教科とつながる」「数学の歴史」で多様な問題を設けることで課題学習の充実が図られている。</p> <p>資 料</p> <p>○挿絵や写真が問題解決の手立てとなるように用いられており、特に問題解決の際のポイントには、生徒の挿絵が効果的に用いられている。</p> <p>○巻末付録には、切り取って使える教具が全ての学年に用意されており、操作や実験を通して数理を見いだすことができるよう配慮されている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○全ページにわたって文節改行を取り入れるなど、生徒にとって読みやすい紙面づくりが行われている。</p> <p>○数学的活動である「Q」は、全て黄色の枠で囲まれ、ゴシック表記で目立つように工夫されており、新しい記号や用語はゴシック太字で表記されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○小学校と中学校の学習内容の系統性を踏まえ、基礎的・基本的な知識や技能等が確実に習得できるような内容構成となっている。</p> <p>○常に既習事項を振り返ることができるように工夫されている。また、「もっと練習」や「補充の問題」では、習熟の程度に応じ工夫されている。</p> <p>○個に応じた豊富な問題が用意されており、家庭での自学自習が可能となっている。</p>

<p>項目</p>	<p style="text-align: center;">書名</p> <h1 style="text-align: center;">新版 数学の世界</h1> <p style="text-align: right;">4 大日本</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○導入課題では既習事項とのつながりを大切にし、身近な事象を題材として取り上げ、数学的活動を具体的に示し、基礎的・基本的な知識や技能が習得できるよう構成されている。</p> <p>○数学的活動を重視し、数学を学ぶよさを実感させながら数学的な見方や考え方を身に付けられるよう構成されている。</p>
<p>特色</p>	<p>内 容</p> <p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫＞</p> <p>○各節の項ごとに学習内容が見開き2ページにまとめられており、測注「思い出そう」を活用し、これまでに学んだことが振り返れるよう配慮されている。</p> <p>○学習内容の定着を図るため、適用問題Qの横に「プラスワン」を設け、補充・深化を図る工夫がされている。また、節末の「練習」、章末問題、巻末の「まとめの問題」は、繰り返し練習することができるよう構成され、問題量も充実している。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成させる工夫＞</p> <p>○巻頭の「ノートづくり方」では、ノートづくりのポイントを示し、作成を通して数学的な思考力や表現力を高めるよう工夫されている。</p> <p>○各学年の巻頭に「学習の進め方」を示し、章末にある「研究をしよう」や「レポートを書こう」では、発表の仕方やレポートの書き方の具体例を示し、個人の考えを基盤に、他の考えも尊重しながら学んでいくことの大切さに触れている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○巻頭にある「学習の進め方」や「ノートづくり方」など主体的な学習を促すためのページが設定されている。</p> <p>○各章末には、「いろいろな問題」が用意されており、学んだことをもとにして解決できる内容となっている。</p> <p>＜数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫＞</p> <p>○各章末にある「挑戦しよう」は、学んだことを活用して考える問題で、全国学力・学習状況調査のB問題にも対応している。</p> <p>○各章末のコラム「社会にリンク」では、中学生に向けて数学を学ぶことの意義やよさを実感できるよう配慮されている。また、巻末「Mathful」には数学の有用性に着目した題材が多く取り上げられている。</p> <p>資 料</p> <p>○口絵や各章の扉、節の最初のページには、美しい写真が数多く掲載されている。また、本文のポイントとなる場面は3種のキャラクターの挿絵を使って強調されている。</p> <p>○巻末に正多面体の展開図シートを添付したり、折り紙で作るくす玉の折り方を示したりして、実際に制作できるよう構成されている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○本文のはじめに「？」や「▷」が記されており、導入の課題や学習のねらいが分かるように配慮されている。</p> <p>○まとめはオレンジ色の枠の中に太字で示されており、解答例は板書形式で示されている。新しい用語や記号はゴシック太字で示し、ルビも付されている。</p> <p>総 括</p> <p>○使用する文字の大きさを1年生と2・3年生で変え、小学校算数や高校数学とのギャップを少なくしている。教科書への書き込みもできるよう工夫されている。</p> <p>○導入を丁寧に扱うとともに、数学的活動を重視した学習の流れを構成し、見開き単位で各項を完結し、学びの過程が明確に示されている。</p> <p>○多様な問題が豊富に設けられており、巻末「Mathful」では数学と社会のつながりを実感できるよう構成されている。</p>

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">中学校数学</p> <p style="text-align: right;">1 1 学 図</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○基礎的・基本的な知識・技能や数学的な見方・考え方が確実に身に付くように題材が用意されており、課題に対して見通しをもち、様々なつながりを意識して学習を進めることができるよう構成されている。</p> <p>○導入問題や問での言語活動を重視し、他者に自分の考えを伝えたり、他者の意見を聞いたりして、積極的に話し合いや説明活動ができるよう工夫されている。</p>	
<p>特 色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○各領域の学習に入る前や本文中に「ふりかえり」が設けてあり、前学年とのつながりを意識させたり、既習事項を振り返らせたりすることで、復習や学び直しができるよう配慮されている。</p> <p>○数と式領域の章末にある「計算力を高めよう」や各章末の「まとめの問題」、巻末の「復習」には豊富な問題が用意されており、反復練習を通して基礎的・基本的な知識及び技能を習熟させるよう構成されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成させる工夫></p> <p>○数学的な考え方の基本としての帰納・類推・演繹の具体例が巻頭で示されている。さらに、本文中でこれらの考え方を使っている典型的な箇所には測注として取り上げられている。</p> <p>○各章末の「深めよう」では、学んだ知識をさらに深め広げることができる課題を用意し、数学的な思考力・表現力を高めるよう構成されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○学習のつながりが明確になるように、節末には今後の学習につなげるための「投げかけ」と参照ページを明示し、主体的で能動的な学習が展開されるよう構成されている。</p> <p>○各章末の「まとめの問題」は、習熟度別に「基本」「応用」「活用」と類別されており、生徒自らが主体的に問題に取り組めるようになっている。</p> <p><数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫></p> <p>○各章末の「まとめの問題」や「深めよう」では、学習内容の応用的な問題や身近な事象に活用する多様な課題が設定されている。</p> <p>○巻末の「さらなる数学へ～共同学習ページ～」では日常的な課題や領域横断的・教科横断的な課題に取り組むことができ、探究的な学びができるようになっている。</p>
<p>資 料</p>	<p>○問題解決のための具体的な状況を気付かせる際には、挿絵や写真が用いられている。また、今後の学習への投げかけに生徒の挿絵が効果的に使用されている。</p> <p>○1年生の巻末付録にあるカードゲームや立体展開図は実際の授業にも活用でき、2・3年生にある「図形の性質のまとめ」も活用しやすく構成されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○章ごとのページが分かりやすく色で区別されている。また、本文の各単元の始めには「目標」が示してあり、新しく学習する方向性が分かるようになっている。</p> <p>○導入課題「Q」や新しい用語や記号は、ユニバーサルデザインフォントやゴシック太文字を用い、必要に応じてルビが付されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○各領域の前に設けた「ふりかえり」では、既習事項のポイントが示されており、小学校算数やこれまでの学習との関連が明確に示されている。</p> <p>○基礎的・基本的な事項の定着のために、数と式領域の章末に「確かめよう」「計算力を高めよう」が、見方・考え方を活用するために各章末に「まとめの問題」が配置されている。また、巻末の「さらなる数学へ～共同学習ページ～」では、共同学習・言語活動を通して数学的な見方・考え方や表現力を育むよう工夫されている。</p>	

書名 項目	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">中学数学</div> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">17 教 出</div>
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な知識や技能、数学的な表現や処理の仕方を習得するために、各章の初めにその章に関連する既習内容を確認する問題を設け、各章末には、その章で学習した基礎的・基本的な内容を確認するページが設けられている。 ○数学的な活動を通して学習を進め、数学のよさを実感させるとともに数学的な思考力・表現力を養うことができるよう構成されている。
特 色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学年の本文の前に「学習を進めるにあたって」を設け、問題解決的な学習の進め方や留意点、さらにノート作成の工夫について示されている。 ○「例題」「たしかめ」「基本のたしかめ」「章の問題」の流れにより多数の問題に取り組むことができ、さらに章末の「学習のまとめ」では、基本的な学習事項を穴埋め形式で確認できるよう構成されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成させる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章に「みんなで数学」のページを設け、数学的活動の充実を図り、規則を見付けたり、説明し伝え合ったりできるよう構成されている。また、「問」に「伝えよう」「話し合おう」のラベルを付けることで言語活動の充実が図られている。 ○各学年の巻末に「数学で大切にしたい考え方」が設けられており、帰納・類推・演繹の具体例を示すとともに、本文の学習での活用場面が示されている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章の扉には、身近な題材を取り上げ、その章の学習の必要性を感じさせる工夫があり、また、各章の導入課題である「Let's Try」では、生徒の知的な好奇心をゆさぶり、主体的に思考活動ができるよう構成されている。 ○本文中に設けた「チャレンジコーナー」「数学ミニ辞典」「数学の広場」や巻末の「自由研究」では、興味・関心に応じて主体的な学習ができるようになっている。 <p><数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○本文中の「問」「たしかめ」で小さな活用を積み重ね、数学を活用する力が徐々に身に付くよう構成されている。 ○本文中の「数学ミニ辞典」では、身の回りの事象に数学を活用する課題が多く設定されている。
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活との関連や身の回りにある具体的な場面を想起させ、問題解決につなげる際に挿絵や写真が用いられている。特に、章の扉は、吹き出しの挿絵が効果的に使われている。 ○巻末には、1年生は小学校の既習内容が、2・3年生は図形の既習内容がまとめられている。付録は、切り取り、組み立て、操作ができる資料が用意されている。
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○まとめや性質、解法の手順は、緑色の枠内に太字で分かりやすくまとめられている。新しい用語や記号は黄色の枠内にゴシック太字で示され、必要に応じてルビが付されている。 ○カラーユニバーサルデザインにより、配色やレイアウト等、工夫がみられる。
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○各章の初めに、好奇心を高め、学びの必要性を感じさせる題材を用い、次に、その章で学習する内容に関連する既習事項を扱い、導入課題へとつなげている。章末には、学習内容を穴埋め形式で確認できる「学習のまとめ」と「章末問題」が用意されており、きめ細かな学習が展開できるよう構成されている。 ○生徒の伝える力や話し合う力の育成に工夫が見られるとともに、巻末には発展問題も用意されており、習熟度に応じ配慮されている。

<p>項目</p>	<p style="text-align: center;">書名 未来へひろがる数学</p> <p style="text-align: right;">6 1 啓林館</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○数学的活動の有用性に気付かせるような題材が取り上げられており、観察・操作・実験などの活動を通して、数学的な見方や考え方の習得を図るとともに、主体的な学習活動が展開されるよう構成されている。</p> <p>○基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、系統性を踏まえ、既習事項を基に新しい学習内容へスムーズに発展していけるよう工夫されている。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特色</p>	<p>内 容</p> <p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫＞</p> <p>○別冊「MathNaviブック」の「学びをつなげよう」で新しい学習内容につながる既習事項をわかりやすく紹介し、本文中の「ふりかえり」マークでも既習事項の確認ができるよう構成されている。</p> <p>○各章末の「基本のたしかめ」や巻末の「くり返し練習」では、学習したページに戻り、振り返りができるよう工夫されている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成させる工夫＞</p> <p>○学習場面に含まれる重要な見方や考え方に気付かせるよう、「見方・考え方」の具体例を枠の中に示し、思考力が高められるよう工夫されている。</p> <p>○「自分のことばで伝えよう」「みんなで話しあってみよう」「自分の考えをまとめよう」で、学習者各々の考えや根拠を伝え合うことができるよう構成されており、章末に設けた「千思万考」の解決を通して論理的思考力を育む工夫がされている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○各章の導入場面に数学的活動を取り入れた「学習のとびら」を見開きページで設定し、生徒が興味関心をもって主体的に数理を見いだすよう構成されている。</p> <p>○数学にまつわる興味深い話題を「数学展望」で扱い、生徒の学習への興味関心と学ぶ意欲が持続できるよう工夫されている。</p> <p>＜数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫＞</p> <p>○「身のまわりへひろげよう」や別冊「MathNaviブック」の「学びをいかそう」では、数学を日常生活で活用して考えたり判断したりできる課題が設けられている。</p> <p>○巻末の「数学広場」には課題学習として扱える題材が多く含まれ、数学で培った力を生かし、より探究できるよう工夫されている。</p> <p>資 料</p> <p>○具体的な操作や手順を示す際には、挿絵や写真が用いられており、押さえておきたい重要な事項やグラフ・作図方法などは、黒板を思い浮かべられるように板書の挿絵が用いられている。</p> <p>○巻末に1年間のまとめが見開き3ページにわたって示されている。また、巻末資料として、切り取って立体が組み立てられる資料が付されている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○新しい用語や記号は、緑色の枠の中にゴシック太字で示され、必要に応じてルビがふられている。重要箇所やポイントは、薄青色の枠中にまとめられている。</p> <p>○文章は意味改行や目線の流れを乱さないレイアウトがされており、読みやすく見やすいものとなっている。コンパスや分度器等を使用するマークが示されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○巻頭の「学習の進め方」に学習の手立てやノート作成の仕方が示されており、さらに基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための様々な問題が用意されている。</p> <p>○思考力や判断力を育成するとともに、数学の有用性を実感させる工夫がされている。また、別冊「MathNaviブック」の活用により、習熟度別指導や少人数指導等の学習形態にも対応できるよう構成されている。</p>

<p>書名 項目</p>	<h1 style="margin: 0;">中学校数学</h1> <div style="text-align: right;"> 104 数 研 </div>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○習得、活用、探究の各場面を的確に設定し、数学的活動を通して、数学的知識や技能が身に付くよう構成されている。特に、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るために、学習の基盤を固めたり、学び直しができる機会が設けられている。</p> <p>○各章の導入では、興味・関心を促すための課題が取り上げられ、主体的な学習ができるよう構成されている。</p>
<p>特 色</p>	<p>内 容</p> <p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫＞</p> <p>○巻頭の「クイックチャージ」で、当該学年までの学習内容がまとめて示されており、復習できるよう構成されている。さらに「ドリルチャージ」で、演習を通して定着状況が再確認できるようになっている。</p> <p>○本文内の「問」、各項ごとの「確かめよう」、巻末チャレンジ編の「確認しよう」などの豊富な問題が用意されている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成させる工夫＞</p> <p>○数学的活動に関連する内容については、該当する「問」や「項目」に「見つけよう」「伝えよう」「活用しよう」のマークをつけ、思考活動を促している。</p> <p>○文中や章末に「やってみよう」を設け、調べたり、試したり、見つけたりする活動を通して、数学のよさが学べるよう工夫されている。また、章末にある「発展」では、さらに進んだ数学に触れることができるよう構成されている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○各章の扉では、興味・関心を促す身近な題材が用意され、これから学ぶ内容の方向が示されているとともに、各項の最初に、学ぶことや目標を示すことで、学習への見通しをもたせている。</p> <p>○章末の「基本問題」や「章末問題」、巻末に用意された「チャレンジ編」により、基礎から発展まで個に応じた幅広く学べるようになっている。</p> <p>＜数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫＞</p> <p>○章末などにある「やってみよう」や巻末の「知識を活用しよう」では、身近なところで数学を活用して考えたり、判断したりできる内容が扱われており、数学のよさが実感できるよう構成されている。</p> <p>○巻末の「数学探検」では、数学の歴史や先進的な数学にもつながる話題で構成されており、数学の世界が広がるような内容となっている。</p> <p>資 料</p> <p>○章の扉や導入部分などで日常生活と関連する場面や具体的な状況を想起させる際に、写真が用いられている。本文のポイントとなる学習部分は、3種のキャラクターの挿絵を用いて強調されている。</p> <p>○巻末付録には、切り取って立体を組み立て、操作ができる資料が用意されている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○各項(節)のタイトル下に「ここで学ぶこと」が示してあり、ねらいが明確に分かるようになっている。学習のまとめは、桃色の枠で囲み鉛筆の絵が配置されている。</p> <p>○図や写真は大きく表示してあり、視覚的にも理解が容易である。また、新しい用語や記号はゴシック太字で、必要に応じてルビが付されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○基礎的・基本的な事項の定着を図るために、既習を振り返らせる「クイックチャージ」や「ドリルでチャージ」が設けられている。さらに、「問」「確かめよう」「確認しよう」などの豊富な問題が用意されている。</p> <p>○例や例題とその解説や解答を丁寧に扱い、「問」は平易な問題を中心に構成し、一部例題には「完全反復問題」を付加し、段階的に学習できるよう工夫されている。</p>

<p>書名 項目</p>	<h1 style="margin: 0;">中学数学</h1> <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 1 1 6 日 文 </div>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○取り組みやすい課題設定により、生徒に意欲的な学習活動を促し、主体的な学習によって、基礎的・基本的な知識や技能、見方・考え方が習得できるよう構成されている。</p> <p>○身近な事象に関連した題材が取り上げられ、数学を活用する場面を設けるなど、数学的な思考力・表現力を高めるよう構成されている。</p>
<p>特 色</p>	<p>内 容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○各章の始めに、「次の章を学ぶ前に」が設けられ、既習事項が確認できるようになっている。また、本文「ふりかえり」では、学びながら既習事項を確認できるよう工夫されている。</p> <p>○節末の「基本の問題」や章末の「くり返し練習」では、既習関連ページが示され、振り返りができるようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成させる工夫></p> <p>○小節末にある「やってみよう」では、新しく学んだことを活用して、考えたり調べたりする課題が示されている。また、「話し合おう」「見つけよう」「説明しよう」などを示した「問」が用意されている。</p> <p>○巻末の「力をのばそう」では、A問とB問の2種類の問題を用意し、B問は全国学力・学習状況調査に対応させている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○巻頭の「数学の学習で大切なこと」には、数学的活動に取り組むための基本事項が示されている。また、各章の扉では、学びの必然性やストーリー性を重視した課題や、身近な課題が用意され、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されている。</p> <p>○小節の横欄に「チャレンジ」を設け、自主的に取り組めるよう工夫されている。</p> <p><数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫></p> <p>○本文中の「数学のたんけん」や巻末にある「数学研究室」では、数学の歴史や、生活や福祉に数学が利用されている内容を扱っている。</p> <p>○数学を活用する力を伸ばすために、各章に「深める数学」や「生活への利用」を設定し、その有用性に触れさせている。</p> <p>資 料</p> <p>○問題解決の際のポイントには、生徒のキャラクターの挿絵が使われており、吹き出しの内容を参考にすることで、思考が進むよう設定されている。</p> <p>○数学の歴史に関するコラムや数学史の年表が掲載されている。また、巻末付録には、切り取って立体が作成でき操作できるような資料がついている。併せて、作図の仕方や図形についても学習内容を確認するページが設けられている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○本文の各章がすぐに開けるようにページが章別に色分けしてある。</p> <p>○本文の解答例はノート形式で表記され、まとめは黄色の枠内に示されている。また、新しい用語や記号は緑色の枠内にゴシック太字で示され、必要に応じてルビが付されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○各項では、学習する内容を原則2ページでまとめており、学習者にとってもわかりやすく構成されている。また、各章の「たしかめ」問題には、教科の観点が示されている。</p> <p>○節末の「基本の問題」にも観点が示され、自己評価ができるよう工夫されている。また、章末の「くり返し練習」では、既習内容に戻れるよう構成されている。</p> <p>○言語活動を意識させるよう構成されている。</p>

埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会専門員理科調査の観点

項目	観 点
教育基本法、学校教育法の下の中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○自然の事物・現象に進んでかかわらせるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○自然の事物・事象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養うために、どのような工夫が見られるか。</p>
特 色	<p><基礎的・基本的な知識・技能・理解を習得させる工夫></p> <p>○基礎的な観察・実験操作の技能や、科学に関する基本的な言葉や概念を習得させるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p><思考力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○観察・実験の結果を分析し解釈することや、科学的な言葉や概念を使用して考え、説明することができるようにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○観察・実験などを主体的に行い、科学的に探究することができるようにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p><実社会・実生活との関連を図る工夫></p> <p>○実社会や実生活と関連付けて、理科を学ぶ意義や有用性を実感させるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p><科学的な見方や考え方を育成する工夫></p> <p>○科学的な知識や概念の定着を図り、科学的な見方や考え方を育成するために、どのような工夫が見られるか。</p> <p><安全・環境保全の重要性を認識する工夫></p> <p>○事故防止や環境保全に関する事項の取り上げ方に、どのような工夫が見られるか。</p>
	<p>資 料</p> <p>○学習効果を高めるため、資料にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○さし絵、写真、図表等、資料のレイアウトにどのような工夫が見られるか。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○生徒の理解を高めるため、言語や記号・用語・単位などの使い方にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○特別支援教育の視点から、障害その他の特性の有無にかかわらず生徒にとって読みやすくするため、どのような配慮がなされているか。</p>
総 括	(全体的な特徴、その他)

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">新編 新しい科学</p> <p style="text-align: right;">2 東 書</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○単元扉や単元末において、身の回りの事象について考えさせる場面を設け、生徒の興味・関心を高めるよう工夫されている。</p> <p>○生徒が主体的に探究活動に取り組めるような構成になっており、科学的な見方や考え方を養えるよう工夫されている。また、各種コラムにて科学に関わる職業や人物を取り上げ、有用性を感じられるよう配慮されている。</p>	
<p>特 色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能・理解を習得させる工夫></p> <p>○基礎操作が囲みで図解されており、手順や操作上の注意事項を確認できるよう工夫されている。また、「チェック」「学習内容の整理」などで基本的な用語や概念を確実に習得できるよう配慮されている。</p> <p><思考力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○観察・実験の結果を分析・解釈するための「結果の見方」「考察のポイント」があり、生徒が科学的に考え、説明できるようになるよう工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○巻頭で探究の流れを示し、その中で教科書の使い方が説明されている。また、各章の始まりと終わりに「before & after」があり、主体的な学習の喚起を促している。</p> <p><実社会・実生活との関連を図る工夫></p> <p>○コラム「科学でGO!」、「未来への宿題」、「from JAPAN ニッポンの科学」において、身のまわりの科学にふれることで、日常生活や社会と関連付けるだけでなく、科学の有用性を伝えるよう工夫されている。</p> <p><科学的な見方や考え方を育成する工夫></p> <p>○「予想しよう」「調べ方を考えよう」「考察しよう」などの探究の過程を明示することで、生徒が主体的な活動に取り組めるよう配慮されている。</p> <p><安全・環境保全の重要性を認識する工夫></p> <p>○「理科室の決まりと応急処置」が各学年に掲載されている。観察・実験については注意事項と注意マークが示されている。また、コラム「科学でGO! エコ大陸」「科学でGO! 防災大陸」などで、環境や防災・減災に関する話題を取り上げている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○付録として、各学年巻末にペーパークラフトがある。また、ページ右下隅にコマ撮り写真が掲載されており、パラパラめくると動画になる単元が設定されている。</p> <p>○各学年巻頭には、主に海外の科学に関する写真が掲載されている。巻末には郊外施設の紹介や科学史年表などが掲載されている。</p> <p>○発展的な学習については、枠の隅にマークが付されている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○本文の文字は、ユニバーサルデザイン書体が使用されている。</p> <p>○グラフの表記については、色覚特性に配慮し、線の形を変え、線の意味を表記するなど、全ての生徒に見やすいつくりで構成されている。</p> <p>○発達の段階に即したわかりやすい文章表現で示されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○単元配列は、教科書の最初から順に進められる形式で構成されている。</p> <p>○全体を通して「課題の把握→予測・推論→観察・実験→結果の分析→まとめ」という流れになっており、探究的な学習が身に付くよう配慮されている。</p> <p>また、単元末に「学習内容の整理」「確かめと応用」「確かめと応用 活用編」「学びを広げよう 自由研究」が示されている。</p> <p>○コラムが多く、日常生活や社会との関連から、科学の大切さが紹介されている。</p> <p>○本が横方向に少しだけ広く、全体的に写真や配色が際立つよう表現されている。</p>	

<p>項目</p> <p>書名</p>	<p style="text-align: center;">新版 理科の世界</p> <p style="text-align: right;">4 大日本</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○最新の科学的知見や、日常生活や社会との関連が深い読み物などを豊富に取り上げており、幅広い知識と教養を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○生徒が互いの意見を尊重しながら討論し、結論を導く学習の流れとなっている。</p> <p>○理科の学習と職業や生活との関連が重視されており、勤労を重んずる態度、環境保全に寄与する態度、国際社会に貢献する意識を養えるよう工夫されている。</p>	
<p>特色</p>	<p>内 容</p> <p>資 料</p> <p>表記・表現</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能・理解を習得させる工夫></p> <p>○観察・実験に応じ、器具の使い方などの基本操作が丁寧に解説されている。</p> <p>○「問い」や「章末問題」などが解答とともに設けられ、自学自習に対応できるよう工夫され、各単元末の「まとめ」は、見やすく設定されている。</p> <p><思考力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○実験結果を分析・解釈して話し合い、原理や法則を導く活動を行うなど、課題解決の流れの中で科学的な思考力・判断力・表現力を養えるよう工夫されている。</p> <p>○レポートや実験ノートの書き方を掲載し、主体的な言語活動の充実を図ることで、表現力が身に付くようにしている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○各学年巻頭の「教科書の使い方」や、各単元の冒頭で単元の学習が見通せるなど、生徒が自ら進んで意欲的に学習に取り組めるよう構成されている。</p> <p><実社会・実生活との関連を図る工夫></p> <p>○日常生活や社会で理科がどのように活用されているかがわかる「プロフェッショナル」「暮らしの中の理科」などの資料が示されている。</p> <p><科学的な見方や考え方を育成する工夫></p> <p>○観察・実験において、結果の整理と考察する活動を分け、それぞれの活動を明確にすることにより、科学的な見方や考え方が養えるよう工夫されている。</p> <p><安全・環境保全の重要性を認識する工夫></p> <p>○観察・実験を安全に行うための注意点がはっきり示されている。また、巻末の基本操作でも安全性について説明されている。</p> <p>○自然環境の保全や防災・安全教育にかかわる話題を豊富に取り上げられている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○単元配列は、教科書の最初から順に進められる形式になっており、観察・実験のしやすい時期や生徒の発達の段階が考慮して構成されている。</p> <p>○観察・実験の着目点や結果の整理が丁寧に示されている。また、中学校へのスムーズな接続が期待できる小学校の既習内容を意識した箇所が随所に設定されている。</p> <p>○単元ごとに終章「学んだことを活かそう」があり、「まとめ」「章末問題」「読解力問題」を示し、基礎的・基本的な知識の定着及び技能の習得が図られている。</p>	

<p>書名 項目</p>	<h1>中学校科学</h1> <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 11 学 図 </div>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○観察・実験の課題、手順、結果、考察の流れがわかりやすく示されている。 また、問題解決の方法や結果の予想を話し合う「話し合ってみよう」が設けられており、生徒が主体的に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○日常生活と関連したコラムや資料が豊富にあることで、自然の事物・事象を意識させ、生徒の興味・関心をより高めるよう工夫されている。</p>	
<p>特 色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能・理解を習得させる工夫> ○各学年の巻頭に「観察・実験の進め方」が掲載されており、理科の学び方を意識できるよう工夫されている。各学年の巻末には各種基本操作があり、観察・実験操作の技能を習得できるよう配慮されている。</p> <p><思考力、表現力等を育成する工夫> ○観察・実験の最後は結果と考察の欄を分けており、結果に基づいて考えるよう構成されている。また、「レポートのかき方」で基本的なレポートの書き方を学ばせるよう構成されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○「話し合ってみよう」で予想を話し合い、自ら問題解決をする態度や科学的な探究を促すよう工夫されている。</p> <p><実社会・実生活との関連を図る工夫> ○日常とのつながりや科学の歴史を意識できる「科学の窓」のコラムが多数掲載されている。また、各単元末では科学に関連する職業や人物を紹介しており、科学を学ぶ有用性を実感できるよう配慮されている。</p> <p><科学的な見方や考え方を育成する工夫> ○探究活動を行うときの課題が「Let's Try!」として設けられている。 ○各章末や単元末にまとめや確認問題があり、知識や概念の確実な定着を図ることができるよう配慮されている。</p> <p><安全・環境保全の重要性を認識する工夫> ○事故防止のため、必要箇所「注意」マークが示されている。生物観察時の注意や、廃液処理にも配慮されている。「科学の窓」のコラムで、環境保全に関する内容が紹介されている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○各学年巻末に各種資料が掲載されている。2学年巻末には原子カードの付録、3学年巻末にはノーベル賞受賞者や高校へのステップアップ、自然環境を意識した資料が掲載されている。</p> <p>○科学を仕事に活かすページを適宜設けられている。</p> <p>○全体を通して、さし絵、写真、図表等、見やすいレイアウトで構成されている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○重要語句は太字で示されている。</p> <p>○発達の段階に配慮したわかりやすい端的な文章表現で示されている。</p> <p>○図やグラフの表記については、矢印の色や線の種類を変えて表現されており、特別支援やカラーユニバーサルデザインの観点に配慮されている。</p>
	<p>総 括</p>	<p>○各学年の単元配列が、「化学」「物理」「生物」「地学」の順（1分野・2分野）で構成されている。</p> <p>○「これまで学んできたこと」→「これから学ぶこと」→「観察・実験」→「結果・考察・まとめ」→「学習の確認」という流れになっており、探究活動・科学的思考力の育成を意識して構成されている。</p> <p>○単元ごとに「学習のまとめ」「単元末問題」「活用しよう」が示されている。</p>

項目	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>書名</p> <h1 style="margin: 0;">自然の探究 中学校理科</h1> </div> <div style="text-align: right;"> <p>17</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 出</p> </div> </div>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○1学年巻頭「なぜ理科を学ぶのか」において、これから理科を学ぶことの動機付けとなるように、理科を学ぶ意義が示されている。</p> <p>○観察・実験の前に課題を設け、必要に応じて「話し合おう」「考えよう」があり、計画の立案や実験結果の予測などが行えるようになっている。これにより、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p>
<p>特 色</p>	<p>内 容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能・理解を習得させる工夫></p> <p>○単元ごとに、「要点と重要用語の整理」「基礎・基本問題」が掲載されている。また、観察・実験で必要となる器具や装置の操作・技能は「基礎技能」として紹介され、詳しく図解されている。</p> <p><思考力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○観察・実験の後に「実験から」「わたしのレポート」が適宜掲載されており、思考力・表現力の育成が図られるよう工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○1学年巻頭に「理科学習の進め方」が明示されており、生徒が自主的・科学的に探究することができるよう配慮されている。</p> <p><実社会・実生活との関連を図る工夫></p> <p>○単元の扉等にて、日常生活で目にする事物・現象が取り上げられている。また、「生活」マークのコラム「ハローサイエンス」においても、生活に身近な内容について科学的な視点で紹介されている。</p> <p><科学的な見方や考え方を育成する工夫></p> <p>○「考えよう」では、課題を解決するための方法を検討し、仮説の設定や結果の予想を立てたりすることができ、科学的な見方や考え方が身に付けられるよう工夫されている。</p> <p><安全・環境保全の重要性を認識する工夫></p> <p>○事故防止のため、必要箇所に種類分けした注意喚起マークが示されている。環境に関する話題にもマークで示し、環境との関わりを意識できるよう配慮されている。</p> <p>資 料</p> <p>○付録として、1学年巻末に「簡単なカメラをつくろう」、2学年巻末に「原子のモデルカード」、3学年巻末に「星座早見作成シート」が掲載されている。</p> <p>○各単元の始まりに、見開きで大きく関連写真が掲載されている。</p> <p>○発展的な学習の箇所については黄色地で示してあり、本文との区別がしやすく構成されている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○本文中の重要語句は朱色の文字で示されている。各単元末の「要点と重要語句の整理」も朱色の文字で示されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインに配慮した紙面構成になっており、全ての生徒にとって見やすく構成されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○各学年の単元配列が、「化学」「物理」「生物」「地学」の順（1分野・2分野）で構成されている。また、生徒の目を引くよう多くの写真や図を利用し構成されている。</p> <p>○単元末に「要点と重点用語の整理」「基礎・基本問題」「活用・応用問題」が示されている。</p> <p>○全体を通して「導入」→「課題の把握」→「予測・推論」→「観察・実験」→「結果の分析」→「まとめ」という流れになっており、科学的な見方や考え方が身に付くよう構成されている。</p>

<p>項目</p> <p>書名</p>	<p style="text-align: center;">未来へひろがるサイエンス</p> <p style="text-align: right;">61 啓林館</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○実生活における活用や、論理的な思考力のもととなる基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>○自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察・実験を行うことを意識させるとともに、科学的な見方や考え方を養えるよう、豊富な関連資料が用意されている。</p>
<p>特色</p>	<p>内 容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能・理解を習得させる工夫></p> <p>○「学習のまとめ」で、単元全体の基礎的・基本的な知識の確認と整理ができるよう構成されている。よく使う実験器具については、基本的な技能の習得が図られるよう、関連単元の近くに「サイエンス資料」として紹介されている。</p> <p><思考力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○言語活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力を育成するために、様々な場面の中で、思考し、表現する活動が用意されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○巻頭で教科書の使い方が説明されている。また、問題解決の流れを意識した探究的な学習展開になっており、生徒が主体的に学習に取り組めるよう、資料が充実している。</p> <p><実社会・実生活との関連を図る工夫></p> <p>○キャリア教育や先人の知恵などにつながるコラムが豊富に取り上げられており、実社会や実生活との関連付けが図られている。</p> <p><科学的な見方や考え方を育成する工夫></p> <p>○読んで理解する本冊と、書いて理解するマイノートの2冊構成になっており、順序立てて思考しながら記入できるので、科学的な知識や概念の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p><安全・環境保全の重要性を認識する工夫></p> <p>○実験・観察の事故防止のため、必要箇所に「安全」等のマークが示されている。また、環境に関する話題にもマークを表示し、環境への意識が高められるよう工夫されている。</p>
	<p>資 料</p> <p>○各学年巻末に地域ごとの資料が掲載されている。また、同じく巻末に地域の施設活用、日本の科学技術、キャリア教育などの資料が掲載されている。</p> <p>○全体を通して、さし絵、写真、図表等、見やすいレイアウトで構成されている。</p> <p>○本文を紙面の中央に寄せ、関連資料をその周りに配置し、視線の動きが意識されている。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○重要語句は太字で示されている。</p> <p>○発達の段階に配慮したわかりやすい端的な文章表現で構成されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインに配慮した紙面構成になっており、全ての生徒にとって見やすく構成されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○各学年の単元配列が、「生物」「地学」「化学」「物理」の順（2分野・1分野）で構成されている。また、別冊マイノートや青色シートを使うなど、独特な作りである。</p> <p>○単元ごとに「学習のまとめ」があり、別冊の「ステップアップ」においても、「基本のチェック」「力だめし」「学年末・中学校総合問題」などが示されている。</p> <p>○問題解決や探究的な流れを大切に、「導入」→「課題と予想」→「観察・実験」→「まとめ」→「活用・応用」で構成されている。</p>

埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会専門員音楽科（一般）調査の観点

項目	観 点
教育基本法、学校教育法の下の中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○音楽活動の基礎的な能力を伸ばすために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○音楽文化についての理解を深めるために、どのような工夫が見られるか。</p>
特 色	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> <p>○音楽活動の基礎的な能力を習得させるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取り、音楽的な面白さやよさを感じ取るために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○生徒が主体的に学習に取り組むようにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫＞</p> <p>○生涯にわたって楽しく豊かな音楽活動ができるための基になる能力を伸ばすために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜音楽文化についての理解を深めさせる工夫＞</p> <p>○我が国や郷土の伝統音楽に対する理解を深め、我が国の音楽文化に愛着をもつとともに諸外国の音楽文化を尊重する態度を育てるために、どのような工夫が見られるか。</p>
	<p>○学習効果を高めたり、発想を広げたりするために、資料にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○さし絵、写真、図表等、資料のレイアウトにどのような工夫が見られるか。</p>
	<p>○生徒の理解を高めるため、音符、休符、記号、用語の取扱いや、楽譜な使い方などどのような工夫が見られるか。</p> <p>○特別支援教育の視点から、障害その他の特性の有無にかかわらず生徒にとって読みやすくするため、どのような配慮がなされているか。</p>
総 括	(全体的な特徴、その他)

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">中学音楽 音楽のおくりもの</p> <p style="text-align: right;">17 教 出</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○教育基本法や学習指導要領に基づき、「音楽の要素を捉えながら」「さまざまな音楽文化」「歌い合わせ聴き深める喜び」と大きく3つのまとまりで編集され、発達の段階に応じた効果的な学びと豊かな心の育成が可能となっている。</p> <p>○各学年とも我が国の伝統文化の尊重を踏まえ、その理解を中心に据えながら、さまざまな音楽文化」を効果的に紹介、位置づけており、他国の音楽文化を尊重する態度を養うよう編集されている。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○第一学年に「Let's Sing!」のコーナーでは、発声の基本事項や変声期について学習できるよう、イラストを使ってわかりやすく説明されている。</p> <p>○鑑賞教材の基礎知識や着目点がわかりやすい「リード文」で示されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○各題材とも左ページの端に活動のポイントが示され、生徒が思考・判断しながら学習できるよう配慮されている。</p> <p>○キャラクターによる質問や助言の吹き出しが示され、生徒が思考・判断する場面が設定されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○写真や図が効果的に配置されて視覚的に見やすく、生徒が興味を寄せたり、表現の工夫や鑑賞曲への理解に活かしたりしやすい構成となっている。</p> <p><音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫></p> <p>○歌唱共通教材を活用し、歌いながら指揮をする活動が全学年に掲載されている。</p> <p><音楽文化についての理解を深めさせる工夫></p> <p>○歌唱教材と比較聴取教材とを関連づけて学習したり、楽器の音をまねて歌ったりするなど、日本の伝統音楽の特徴を感じ取りやすくなるよう工夫されている。</p> <p>○外国曲については、歌詞の発音や翻訳、対訳なども掲載されている。</p> <p>○「肖像で見る音楽年表」が2・3下巻に設置され、日本と西洋の音楽の歩みに関連する人物が、肖像と主要作品等とともにわかりやすくまとめられている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○各学年とも、楽典やオーケストラの楽器や日本の楽器に係る内容が巻末口絵に見開きでわかりやすくまとめられ、参照しながら学習できるよう工夫されている。</p> <p>○歌唱共通教材は、縦書きの歌詞とピアノ伴奏入り楽譜、「作者について」の紹介等によって大きく構成されており、より深く学習できるよう配慮されている。</p> <p>○日本の伝統音楽の内容が各学年の中程の折込ページで大きく取り上げられている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○各教材とも、〔共通事項〕の用語や記号が右ページ端にまとめられ、示されている。</p> <p>○吹き出し方式でキャラクターが生徒に話しかける説明方法がとられている。</p> <p>○より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインが使用されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○写真やイラストを多用し、学習のポイントや音楽の諸要素などが3年間の一貫性をもって示されているため、生徒にとって親しみやすく、わかりやすい紙面構成となっている。巻頭の著名音楽家のインタビューや作曲家たちの史実に基づいた創作物語も、生徒の興味関心を引くよう工夫されている。</p> <p>○学習指導要領に基づいて大きく3つにまとめられて編集されている。</p>	

<p>書名 項目</p>	<h1 style="margin: 0;">中学生の音楽</h1> <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 27 教 芸 </div>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○学習指導要領の各学年目標と内容を踏まえた適切な教材によって、必要な範囲の内容が十分に網羅されている。また、無理なく扱えるよう構成されている。</p> <p>○歌唱教材、鑑賞教材、創作の学習がバランスよく、また系統的に内容が構成されている。また、我が国の伝統音楽文化はもとより、諸外国の音楽文化についても理解できるように、体験活動を取り入れた構成となっている。</p>	
<p>特 色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○各学年に「確認しよう」のコーナーが設けられ、ビンゴゲームやリズムゲームで音符、休符、記号について繰り返し学習し、基礎的な内容を確認できるよう配慮されている。また、〔共通事項〕に関わる内容がマークで示されており、学習の手助けとなっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○教材や楽曲について知覚・感受したことを「ここが分かればGrade up!」に直接書き込むことができるようになっている。また、思考・判断・表現する上でのヒントが吹き出しなどで示されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○目標とする学習内容やその方法、学習に必要な情報が明確に示されている。巻頭や巻末などに口絵や資料などがまとめられており、興味・関心をひきつけ、主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p><音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫></p> <p>○「心の歌」として歌唱共通教材を示し、説明や情景写真により、感受性を働かせながら学習を進められるよう配慮されている。また、巻末の豊富な楽典資料で確認や反復学習ができるよう工夫されている。</p> <p><音楽文化についての理解を深めさせる工夫></p> <p>○広い分野から教材が取り上げられており、日本だけではなく、諸外国の音楽文化への関心を持たせ、理解を深め、尊重する態度を養うとともに、多様な音楽に触れられるよう工夫されている。また、各学年に「歌い継ごう日本の歌」として、世代を超えて歌い継ぎたい曲が取り上げられ、日本の音楽文化を共有できるよう配慮されている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○「この頃、日本では」という時代背景がわかる部分があり、日本の歴史の視点からも西洋音楽史や曲の背景をとらえることができるよう工夫されている。</p> <p>○必要な情報を確実に注目できるように、シンプルかつわかりやすくレイアウトされている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○メロディの楽譜だけではなく、曲想との関わりを感じ取らせるために、伴奏楽譜や色分けされた楽譜などが工夫されている。</p> <p>○学習ジャンルごとにデザインが統一されていて分かりやすく、色の配置も華美でなくシンプルであり、学習する内容が把握しやすいよう配慮されている。</p>
	<p>総 括</p>	<p>○基本的に学ばせたい内容が掲載されていて分かりやすく、系統的に内容が構成されている。また、写真・資料なども鮮明で新しいものを採用しており、工夫して配置されている。</p> <p>○音楽的内容だけでなく、歴史的・文化的側面からも学びを発展できるよう工夫されており、レイアウトも工夫されている。</p>

埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会専門員音楽科（器楽合奏）調査の観点

項目	観 点
教育基本法、学校教育法の下の小学校教育指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○音楽活動の基礎的な能力を伸ばすために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○音楽文化についての理解を深めるために、どのような工夫が見られるか。</p>
特 色	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> <p>○音楽活動の基礎的な能力を習得させるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取り、音楽的な面白さやよさを感じ取るために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○生徒が主体的に学習に取り組むようにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫＞</p> <p>○生涯にわたって楽しく豊かな音楽活動ができるための基になる能力を伸ばすために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜音楽文化についての理解を深めさせる工夫＞</p> <p>○我が国や郷土の伝統音楽に対する理解を深め、我が国の音楽文化に愛着をもつとともに諸外国の音楽文化を尊重する態度を育てるために、どのような工夫が見られるか。</p>
	<p>○学習効果を高めたり、発想を広げたりするために、資料にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○さし絵、写真、図表等、資料のレイアウトにどのような工夫が見られるか。</p>
	<p>○生徒の理解を高めるため、音符、休符、記号、用語の取扱いや、楽譜な使い方などにどのような工夫が見られるか。</p> <p>○特別支援教育の視点から、障害その他の特性の有無にかかわらず児童にとって読みやすくするため、どのような配慮がなされているか。</p>
総 括	(全体的な特徴、その他)

<p>書名 項目</p>	<p>中学器楽 音楽のおくりもの 17 教出</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○前半は楽器の基礎的な知識や奏法を「演奏の仕方を身につけよう」として、後半はアンサンブルを中心とした楽曲が「合わせて演奏しよう」「名曲旋律集」としてまとめられ、習得した知識や技能を身につけながらさまざまな楽曲に親しみ、合わせて演奏する喜びを実感できるよう構成されている。</p> <p>○和楽器について、箏、三味線、篠笛、太鼓、尺八の楽曲が掲載されている。</p>	
<p>特色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○リコーダー教材は、生徒の技能を無理なく伸ばしていけるよう配慮され、アルトリコーダーに加えて、小学校から扱うソプラノリコーダーを用いて、学習をさらに広げていくことができるよう工夫されている。</p> <p>○楽器の各部の名称や奏法が写真やイラストを用いてわかりやすく解説されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○各楽曲には、表現を工夫して演奏するための具体的なアドバイスが示されている。（演奏のポイント、各楽曲名の下のリード文等）</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○表現と鑑賞、創作の領域を横断する教材や、発展的な教材等を掲載し、生徒の主体性を尊重し、学習の広がりを持てるよう配慮されている。</p> <p><音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫></p> <p>○多様なジャンルの楽曲を掲載し、表現及び鑑賞の幅広い活動をすることができるよう、系統的な構成、内容となっている。</p> <p><音楽文化についての理解を深めさせる工夫></p> <p>○日本の楽器と音楽の歴史や、横笛の解説・手作りの仕方が、中程の折込ページで写真を多用しながらわかりやすく解説されている。</p>
<p>特色</p>	<p>資 料</p>	<p>○巻末口絵には「リコーダー運指表」や写真や図で示された「ギター&キーボードコード表」が見開きでまとめられ、参照しながら学習できるよう工夫されている。</p> <p>○巻末には、器楽（合奏）で用いられる楽語がまとめられており、参照しながら学習できるよう工夫されている。</p> <p>○「With My Heart」では、様々な演奏家（特に邦楽家）のメッセージが紹介されている。</p>
<p>特色</p>	<p>表記・表現</p>	<p>○紙面の文字や見出しが、学習する楽器ごとに色分けされている。</p> <p>○楽器ごとの色分けが、ページをめくる際にも横から確認できるよう配慮されている。</p> <p>○より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインが採用されている。</p>
<p>総括</p>	<p>○各楽器の名称や奏法が、写真やイラスト等を用いて楽器ごとにわかりやすく掲載されている。また、幅広いジャンルの楽曲が平易な編曲で掲載され、中学校のみならず、生涯にわたって楽器を愛好するために必要な資料としても活用できるよう配慮されている。</p> <p>○「With My Heart」のコーナーでは、演奏家、とりわけ邦楽家たちの音楽への思いを知ることができ、日本の伝統音楽をはじめとする音楽文化全体へ生徒が興味関心をもてる内容となっている。</p>	

書名		27 教 芸
項目	中学生の器楽	
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<p>○各学年の目標と内容を踏まえて選ばれた適切な教材によって、必要な範囲の内容が十分に網羅されている。また、無理なく扱えるように構成されている。</p> <p>○5種類の和楽器が取り上げられ、我が国の伝統音楽に重点をおき、楽曲の内容が様々な習熟度に合わせて編曲されている。また、各楽器のコーナーのはじめには、基礎的な技能を習得できるよう工夫されている。</p>	
特 色	内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○楽器の奏法について、適切な解説とイラストや写真が用いられており、基礎的な力の定着に配慮されている。各コラムにおいては、小学校で身につけた内容を確認しながら、繰り返し学習できるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○各コラムにおいて、表現活動を通して思考力・判断力を育む場面が設定されている。「Ensemble seminar」では、ヒントが吹き出しで表示されており、思考した内容を記録したり表現したりする方法にも触れられている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○目標とする学習内容やその方法、学習に必要な情報が明確に示されている。巻頭や巻末などに口絵や資料などがまとめられており、興味・関心をひくよう工夫されている。また、「Q&A」や「和楽器こぼれ話」が多く掲載されており、生徒がより主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p><音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫></p> <p>○日本の伝統楽器はもとより、様々なジャンルのアンサンブル教材を通して、我が国及び諸外国の音楽に触れることができるよう工夫されている。また、多種多様な打楽器の演奏方法が掲載されている。</p> <p><音楽文化についての理解を深めさせる工夫></p> <p>○和楽器については、楽器の奏法に関するだけでなく、姿勢や礼儀などにも触れられている。また、巻頭・巻末の資料にも興味・関心をひくものがまとめられている。</p>
	資 料	<p>○「楽器と出会う」という第一線の若手プレイヤーのメッセージが発想を広げ、クラシックの名曲のメロディを楽器演奏できるように楽譜が掲載されている。</p> <p>○重要な部分やポイントとして押さえておく部分には、写真や挿絵の中に色をのせてわかりやすくするなど工夫されている。</p>
	表記・表現	<p>○奏法の違いやアーティキュレーションの工夫、パートの役割や曲の構成なども掲載されており、より発展的に学習を進められるよう配慮されている。</p> <p>○文章説明だけでなく、挿絵や写真が多く活用されており、視覚的にも理解しやすいよう工夫されている。</p>
総 括	<p>○各楽器の基本的な奏法が掲載されているだけでなく、発展的な学習ができるよう考慮されている。また、簡単な楽譜でもアンサンブルができるよう工夫されている。</p> <p>○各楽器がバランスよく取り上げられており、それらを用いた楽曲においても過不足なく掲載されている。また、様々なジャンルのアンサンブル教材が掲載されており、歌唱や鑑賞の授業ともつながりをもつことができるよう配慮されている。</p>	

埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会専門員美術科調査の観点

項目	観 点
教育基本法、学校教育法の下の中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養うために、どのような工夫が見られるか。</p>
特色	<p>内容</p> <p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> <p>○創造的な技能を働かせてつくりだす表現の能力と、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り味わうなどの鑑賞の能力を培う上で、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○感性を働かせながら発想したり、構想したりする上で、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○「言語活動の充実」について、どのように扱っているか。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○表現や鑑賞において、生徒が学習に主体的に取り組めるようにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜題材の設定＞</p> <p>○生徒の表現（作品等）の選定について、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○材料や用具について、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○鑑賞の対象の取り上げ方や表現（作品等）との関連について、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○〔共通事項〕を指導する上で、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○日本の芸術や伝統と文化に対する理解と愛情を深めるためにどのような工夫が見られるか。</p>
	<p>資料</p> <p>○学習効果を高めるために、資料にはどのような工夫が見られるか。</p> <p>○さし絵、写真等、資料のレイアウトにどのような工夫が見られるか。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○生徒の関心や意欲、理解を高めるため、言語などの使い方にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○特別支援教育の視点から、障害その他の特性の有無にかかわらず生徒にとって読みやすくするため、どのような配慮がなされているか。</p>
総括	(全体的な特徴、その他)

<p>書名 項目</p>	<h1 style="font-size: 2em;">美術</h1> <div style="text-align: right;"> 9 開隆堂 </div>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○美術を通じた人間教育がテーマとなっており、美術を学ぶ意義や美術で培った力を生活や社会にどのように生かしているのかを明確に表すことで、美術を愛好する心情が育てられるよう工夫されている。</p> <p>○優れた美術文化との出会いによって豊かな感性を育てることを大切にし、生徒が自らの発想や構想を生かした表現や鑑賞の学習が展開できるよう配慮されている。</p>	
<p>特色</p>	<p>内容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○基礎的な技法や安全で効果的な道具の扱いについての知識、色彩についての理解などが、巻末にまとめて提示されており、多様な題材の学習に対応できるよう配慮されている。</p> <p>○原寸大の作品の提示により、鑑賞学習の充実を図るとともに、鑑賞学習のきっかけとなる「問いかけ」を設定し、生徒の鑑賞の能力が高められるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○美術科における「言語活動の充実」に配慮し、感想文やレポートを書いたり、発表し合ったりすることによって、表現や鑑賞を深める題材が設定されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○印象的な題材名と活動を示したサブタイトルがわかりやすく、生徒が見通しをもって活動できるように工夫されている。また、観点別の振り返りが設定され、何を学べばよいかを明確に示されている。</p> <p>○生徒作品やその制作風景を積極的に使用することで、授業における取り組み方や工夫の仕方が分かるよう配慮されている。</p> <p><題材の設定></p> <p>○一題材に使用するページ数が多く、多様な参考作品と発想のヒント、技法の説明などさまざまな観点から、独自の表現ができるように紙面が工夫されている。</p> <p>○さまざまな鑑賞の方法を示すために、「比べてみよう」や「美しさの交流」の題材が設定され、表現と鑑賞の一体化が図られている。</p> <p>○国民として必要な美術文化についての知識や理解を保障するために、精選された日本及び諸外国の優れた美術文化が、幅広く多面的に提示されている。</p>
<p>資料</p>		<p>○巻末にある「資料」として掲載されているページ以外にも、題材のページの中で、制作過程や技法が紹介されている。この資料の取り上げ方から、多様な指導が展開でき、学習の幅が広がると考えられる。</p> <p>○レイアウトはすべての生徒が見やすく、活動したいという意欲がわいてくるように、ワンパターンではなく、題材に応じて工夫されている。</p>
<p>表記・表現</p>		<p>○題材ごとの主文は中学生にも分かりやすい言語表現がされ、発達の段階に応じてねらいが明確に設定されている。</p> <p>○色覚に多様性のあるすべての生徒に対して、内容がきちんと伝わるように、紙面全体に識別しやすい配色や形状、写真の配置などが工夫されている。</p>
<p>総括</p>		<p>○学習目標や学習の具体的な方法、培うべき資質や能力、学習の振り返りが整理して紙面に示され、全体として美術科の目標が実現できるよう配慮されている。</p> <p>○同一題材であっても複数の作家の作品が掲載されていたり、表現方法が違っていたりすることで、学校や生徒の実態に合わせた表現や制作ができ、生徒の自主的・自律的な学習を促すよう工夫されている。</p> <p>○A4判サイズで、1学年用1冊と2・3学年用1冊の計2冊で構成されている。</p>

書名		美術		38 光村
項目				
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり	○写真や文章による丁寧な説明や充実した資料を活用しながら、主体的に学ぶ態度を育て、美術を愛好する心情を育てるような手立てが工夫されている。 ○制作過程やヒントを頼りにしながら、基礎的・基本的な知識や技能が身に付くよう工夫し、身の回りにある美術にまで視野を広げる構成で、豊かな情操を養うことが図られている。			
特色	内容	<基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○題材の一部に、4ページ構成の題材を設け、題材のテーマに沿った多くの作品や図版、活動例を豊富に提示することで、表現の可能性を広げ、生徒一人一人が創造性を培う助けとなる構成になるよう工夫されている。 <思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○発想を表すマークを示し、ヒントになる言葉や問いかけが記載されている。またその題材がどのようにして社会で活用されているか、現代美術家がどう取り入れているかなどが掲載されている。 ○「作者の言葉」を随所で取り上げ、言語を通して制作者である作家や生徒の心情や意図がより理解できるよう工夫されている。 <主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○巻末資料が充実しており、基礎的な技法が分かりやすく掲載されているのに加え、それを活用することでどのような作品ができるのかが分かるよう構成されており、生徒が見通しをもって題材に取り組むことができるよう配慮されている。 <題材の設定> ○制作過程や表現方法が詳しく紹介されているので、苦手意識をもつ生徒でも活動の見通しをもって制作できるよう構成されている。 ○生活の中的美を意識して掲載し、いわゆる作品とされるものだけではなく、身の回りにあるものの美しさにも目を向けられるよう工夫されている。 ○全体を通して、わが国で大切にされてきた伝統と文化が多く取り上げられ、日本の国宝の作品が「日本の国宝」マークで示されている。		
	資料	○表現技法や用具の扱い方、形・色・材料・光に関する巻末の資料のページを充実させ、表現と鑑賞の双方に生かせるよう工夫されている。 ○日本の美術では、伝統的な作品から現代的なアートの表現法まで紹介されており、「美術＝作品だけではない」ことや身の回りに美があることなど、現代における美術のとらえ方を学ぶことができるよう配慮されている。		
	表記・表現	○作品と作者のアイデアスケッチまたは完成に至るまでの習作も取り入れることで、生徒の理解が深まるよう構成されている。 ○未習漢字や固有名詞などには読み仮名を振り、学習がより円滑に進むよう配慮されている。		
総括	○等身大の生徒の視点を大切にし、生徒が自分の思いや願いを尊重して学習できるよう配慮されている。 ○学習内容やねらいを明確にして構成や内容を整理し、機能的で使いやすいように工夫されている。生活や社会と関わる美術の働きを取り上げ、学習内容を生活に生かすこともできるよう配慮されている。 ○A4判サイズで、1学年用1冊と2・3学年用1冊の計2冊で構成されている。			

<p>書名 項目</p>	<h1 style="font-size: 2em;">美 術</h1> <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 1 1 6 日 文 </div>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○身近な日本の作品を数多く扱ったり、発達の段階に合わせた表現の題材を設定したりすることで、主体的に取り組めるよう、表現や鑑賞の題材が設定されている。</p> <p>○美術文化についての理解を深め豊かな情操を養うため、古くから受け継がれてきた美術作品や、生活の中の様々な用具や造形などから、その国や時代に生きた人々の美意識や創造性について理解できるよう工夫されている。</p>	
<p>特 色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○4観点の学びのねらいと、インデックスで分野（絵や彫刻など、デザインや工芸など）と領域（表現、鑑賞）を示し、教師、生徒ともに授業のイメージが具体的にもつことができるよう整理されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○参考作品には、「作者の言葉」が紹介されており、主題が明確に示されている。また、「POINT」のコーナーで留意点が示されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○分野別の構成と系統性のある題材配列に加え、分野ごとに表現と鑑賞のページが設けられており、生徒が見通しをもち、主体的に取り組むことができるよう構成されている。</p> <p>○生徒が美術を主体的に学んでいけるように、主に題材に関連する資料が各冊の巻末に設定されている。色彩や技法などの内容は、創造的な技能や発想や構想の能力の育成の大きな支えとなっている。</p> <p><題材の設定></p> <p>○表現と鑑賞の一体化が図られるよう、鑑賞ページにはすべて「参照マーク」が付されており、関連のあるページへのリンクが示されている。</p> <p>○鑑賞の題材だけでなく鑑賞の資料のページもあり、さまざまな視点で鑑賞できるよう工夫されている。</p> <p>○〔共通事項〕に示された視点については、全ての題材において、紙面に掲載されている生徒作品や記載する文章などから読み取ることができるよう配慮されている。</p>
<p>資 料</p>	<p>○「道具」「色彩」「鑑賞」「技法」などさまざまな視点で資料のページが設定され、題材の中で関連する場合は、そのページにも表記し連動して活用できるよう工夫されている。</p> <p>○見開き全体を意識して作品や文章などが配置され、細部まで丁寧に鑑賞することができるよう作品が大きく掲載されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○イメージを広げる題材名と、それを深める副題、それに対応する解説文の表記により、参考作品の時代背景が理解できるよう工夫されている。</p> <p>○1ページの紙面がシンプルに構成されており、情報を精選することで、全ての生徒に見やすいユニバーサルデザインが採用されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○美術の学習が単なる自己表現に終わるのではなく、道徳心や公共心、他人を思いやる心などが育まれるよう題材が工夫されている。</p> <p>○全体的にすっきりとした紙面で構成されており、重要なことだけ端的に示されている。</p> <p>○A4判よりも2cm幅を広げたA4ワイド判で、1学年用1冊と2・3学年用上・下2冊の計3冊で構成されている。</p>	

埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会専門員保健体育科調査の観点

項目	観 点
教育基本法、 学校教育法の 下の中学校学 習指導要領の 教科の目標と のかかわり	○心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるためにどのような工夫が見られるか。 ○健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てるためにどのような工夫が見られるか。
特 色 内 容	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> ○基礎的・基本的な知識を確実に習得させるために、どのような工夫が見られるか。 ○身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容の重視のために、どのような配慮がなされているか。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> ○知識を活用する学習活動を取り入れるために、どのような工夫が見られるか。 <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> ○生徒が学習に興味をもち、自主的、自発的に学習ができるようにするために、どのような工夫が見られるか。 <p>＜生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する工夫＞</p> ○生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるために、どのような工夫が見られるか。 <p>＜健康の保持増進のための実践力を育成する工夫＞</p> ○生徒が科学的な思考と正しい判断の下に意思決定や行動選択を行い、適切に実践していくための思考力・判断力などの資質や能力の基礎を育成するために、どのような工夫が見られるか。
資 料	○学習効果を高めるため、資料にどのような工夫が見られるか。 ○さし絵、写真、図表等、資料のレイアウトにどのような工夫が見られるか。
表記・表現	○生徒の理解を高めるため、言語や記号・用語などの使い方にどのような工夫が見られるか。 ○特別支援教育の視点から、障害その他の特性の有無にかかわらず生徒にとって読みやすくするため、どのような配慮がなされているか。
総 括	(全体的な特徴、その他)

<p>項目</p>	<p>書名</p> <h1 style="text-align: center;">新編 新しい保健体育</h1> <div style="text-align: right;"> 2 東 書 </div>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○基礎的・基本的な知識の確実な習得のために、学習指導要領に示された事項が簡潔にまとめられ、習得状況や理解度が自己評価できるよう構成されている。また、学習内容が小・中・高等学校を通じての系統性が意識されている。</p> <p>○思考力・判断力・表現力の育成を図る学習活動が設けられている。また、学習指導要領解説に示された指導方法の工夫を中心とした学習方法が示され、主体的な学びおよび言語活動の充実が図られている。</p>
<p style="text-align: center;">特 色</p>	<p>内 容</p> <p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> <p>○見開き2ページを1単位時間で学習することとし、学習が円滑に進められるように学習の流れを意識して構成されている。</p> <p>○各章末に「確認の問題」「学習のまとめ」が設けられており、学習した内容の定着及びその確認に役立つよう配慮されている。</p> <p>○キーワードの欄が設けられ、基本的知識が明確になるよう工夫されている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○習得した知識を活用して取り組む「考えてみよう」の設問や直接書き込む欄の設定により、思考力・判断力・表現力が高められるよう工夫されている。</p> <p>○主体的に判断・行動し、自然災害から命を守る生徒の育成を目指した内容が充実している。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○中表紙に学年毎の学習内容が簡潔に示されており、生徒が学習の概要をつかめるよう配慮されている。</p> <p>○他教科との関連付けが図られており、主体的な学習への意欲付けにつながられるよう配慮されている。</p> <p>○保健体育のさまざまな学習方法についての説明により、取り組みやすくなるよう工夫されている。</p> <p>＜生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する工夫＞</p> <p>○随所に働く人の姿を紹介し、勤労を重んずる態度を養い、自らの生き方や進路について考えられるよう配慮されている。</p> <p>＜健康の保持増進のための実践力を育成する工夫＞</p> <p>○「やってみよう」「考えてみよう」「生かそう」などの活動において、個人生活における課題が中心に取り上げられ、自己の健康・安全について考えられるよう工夫されている。</p> <p>○多発する犯罪被害に対応し、「犯罪被害の防止」の内容を充実させ、意思決定や行動選択ができるよう構成されており、実践力の育成が図られている。</p> <p>○口絵でスポーツ選手の食事基本スタイルと試合前後の食事、運動と水分補給について紹介されており、特に運動部の生徒が実践してみたい内容となっている。</p> <p>資 料</p> <p>○「読み物」や「巻頭・巻末資料」が生徒の興味や関心を引き付ける内容となっており、丁寧に標記されている。</p> <p>○口絵が豊富で力強さを印象づける構成となっている。勤労観や職業観だけでなく、2020年東京オリンピックに期待や夢を抱かせる内容となっている。</p> <p>○解説や資料等、参照すべきページが明示されている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○学び方の例をフローで平易に説明してあり、学習形態、学習方法等の例示も含め、経験の浅い教員の参考となるよう配慮されている。</p> <p>○キーワードにはルビが振られており、分かりやすく示されている。</p>
<p style="text-align: center;">総 括</p>	<p>○学年進行に沿って章・項目立てられ、生徒にとって分かりやすく構成されている。</p> <p>○章扉に小・中・高等学校の学習の系統性が示されている。</p> <p>○キャラクターの吹き出しで、学習のヒントを与えるよう工夫されている。</p> <p>○生活習慣・薬物乱用防止など、現代的な課題を扱う項目が充実している。</p>

<p>項目</p> <p>書名</p>	<p style="text-align: center;">新版 中学校保健体育</p> <p style="text-align: right;">4 大日本</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○「今日の学習課題」において各時間の学習目標が明確にされており、基礎的・基本的な知識の習得が図られている。</p> <p>○「学習を活かして」において思考力・判断力が育成され、健康の保持増進のための実践力が養われるよう工夫されている。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特色</p>	<p>内 容</p> <p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫＞</p> <p>○太字ゴシック体による重要語句の明示、キーワード欄の設定により、基礎的・基本的な知識の習得への工夫が図られている。</p> <p>○章末で、学習のまとめとして重要語句の再確認ができるよう構成されており、さらに、再確認できるページ数も示されている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○小單元ごとに「学習を活かして」という課題が設けられ、学習したことを活用して、考えたり、発表したりする学習活動につなげやすく工夫されている。</p> <p>○資料や身近な事例をとおして思考する「考えよう」が設定されている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○関連する学習内容が掲載されているページ数を「リンク」として示し、生徒の主体的な学習につながるよう工夫されている。</p> <p>○「トピックス」「トピックス+」により、生徒の興味や関心が高まるよう工夫されている。</p> <p>＜生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する工夫＞</p> <p>○体育編（2章）の章末資料として「マイトレーニングをつくろう！」という項目が掲載されており、生徒の参考になる内容が例示されている。</p> <p>○運動やスポーツの学び方では、技術・作戦・戦術について「ゴール型」「ネット型」「ベースボール型」に分けて例示されている。</p> <p>＜健康の保持増進のための実践力を育成する工夫＞</p> <p>○交通安全や防犯への意識、自然災害に対する日頃の備えや応急手当について分かりやすく図式化されている。</p> <p>○喫煙と健康のトピックスで、喫煙による胎児への影響が示されており、妊娠している女性の喫煙や受動喫煙についての意識を高められるよう配慮されている。</p>
	<p>資 料</p> <p>○図表やイラストに「吹き出し」を入れて、ポイントを解説し、資料が読み取りやすくなるよう工夫されている。</p> <p>○学習内容を深めるために、イラストや写真、ミニ知識、トピックスが設けられている。</p> <p>○トップアスリートの紹介や、食育に関連する実践例が示されている。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○重要語句が太字ゴシック体で表記されており、視覚的効果が図られている。</p> <p>○各章末に「学習のまとめ」として、「重要な言葉」と「学習の要点」がまとめて表記されており、再確認するためのページ数も示されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○学習指導要領の進行に準拠しており、各章の扉に、「この章で学習すること」として、学習の流れが示されている。</p> <p>○習得すべき重要語句が太字ゴシック体で強調され、章末においても「重要な言葉」「学習の要点」として押さえられるよう工夫されている。</p> <p>○ワイドな見開き版で、体育編、保健編ともに「リンク」表記があり、横断的な学習に役立つよう配慮されている。</p>

<p>項目</p>	<p style="text-align: center;">書名</p> <h1 style="text-align: center;">保健体育</h1> <p style="text-align: right;">50 大修館</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○論理性・具体性を重視した構成で、学習を進める中でポイントとなる重要語句が太字になっていたり「キーワード」として補足してあったりと、確実な知識の習得が図られるよう工夫されている。</p> <p>○さまざまな学習方法の説明があり、それらの学習方法を用いて解決する課題が提示され、実生活で知識が活かせる思考力、判断力が育成されるよう工夫されている。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特色</p>	<p>内容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○キーワード欄を設けたり、重要語句を太字にしたりするなど基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。</p> <p>○単元の始めに「Question」が付されており、学習が円滑に進むよう構成されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「活用」「実習」の課題に取り組みさせることで、思考力・判断力・表現力を高めることができるよう工夫されている。</p> <p>○小単位ごとに「Try」という課題が設けられ、学習内容を活用し解決することで、思考力・判断力・表現力が身に付けられるよう構成されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「コラム」「事例」などを掲載し、生徒の興味・関心が深められるよう工夫されている。</p> <p>○「challenge」という課題が、自分の問題として捉えられる内容となっており、主体的に学習に取り組みやすくなるよう工夫されている。</p> <p><生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する工夫></p> <p>○生活に関連した情報を「トピックス」「Q&A」「情報資料室」などで提供し、日常生活と学習内容との関連付けが図られている。</p> <p><健康の保持増進のための実践力を育成する工夫></p> <p>○心肺蘇生法や応急手当の図や写真が明瞭に示され、また実習ができるようにチェックシートが設けられているなど、実践力の育成が図られている。</p> <p>○犯罪の防止では、防犯の取組を写真で示したり、コミュニティサイトでの危険回避について考えさせたりして、実践力の育成が図られている。</p> <p>資料</p> <p>○学習内容に関連する URL が掲載され、発展的な内容まで学習できるよう工夫されている。</p> <p>○口絵が多様な内容で、写真が充実しているとともに、今後の東京オリンピックや生涯スポーツをイメージさせる内容となっている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○本文の下地が薄黄色となっていて資料との区別がつきやすく工夫されている。また、重要語句が太字で強調して示されている。</p> <p>○図表や写真の中で、重要な内容が吹き出しで表現されている。</p> <p>○章の扉には、学習内容の概略が質問形式で簡潔に説明されている。</p>
<p>総括</p>	<p>○基礎的・基本的な知識の習得を図ることに重点が置かれ、科学的な根拠をもって説明されている。</p> <p>○章の扉に、学習内容に関連した写真や発問があり、見通しをもって取り組むことができるよう構成されている。</p> <p>○関連する内容のページやURLなどを掲載することで、系統的な学習となるよう工夫されている。</p> <p>○現代的な生活習慣や薬物、犯罪被害などの課題に関する内容が充実している。</p>

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">新・中学保健体育</p> <p style="text-align: right;">224 学研</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○基礎的な知識の習得のために、「学習の目標」が示され、本文に即して豊富な資料で学習が進められるよう構成されている。また、小・中・高等学校の学習の系統性に配慮し、かつ、学習指導要領の記述順に従った内容で構成されている。</p> <p>○思考力・判断力の育成を目指す「活用しよう」、知識を活用する課題、実験・実習等を設け、健康の保持増進のための実践力の育成が図られている。</p>
<p>特色</p>	<p>内容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○「学習の目標」「キーワード」が明示されており、学習の見通しや振り返りがしやすく構成されている。</p> <p>○重要語句が太字で分かりやすく表現されている。</p> <p>○見開き2ページで1単位時間が設定されており、目標・ウォームアップ・エクササイズ等により、学習の流れが把握しやすく工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○学習したことを活用して取り組み、思考力・判断力・表現力を育成するための「活用しよう」という課題が設定されている。</p> <p>○章末に、習得した知識を実生活に活用する記入欄が設定されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「言語」「協働」等の欄により、表現活動の内容が広がるよう工夫されている。</p> <p>○コラムの内容が標記され、興味・関心が高まるよう工夫されている。</p> <p>○発展的・探求的な「探求しようよ」「資料」欄により、生徒の意欲が高まるよう工夫されている。</p> <p><生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する工夫></p> <p>○豊富な資料等を元に、日常生活と学習内容の関連付けが図られている。</p> <p>○これからの生活に役立つ記述や、求められる力への関心が高まるよう工夫されている。</p> <p><健康の保持増進のための実践力を育成する工夫></p> <p>○様々な健康課題に関する内容が大きく取り扱われており、現代的な健康課題の学習が図られている。</p>
<p>資料</p>	<p>○口絵は多様な内容を網羅しつつ整理されており、学習に関連した書籍が紹介され、食育に関する実用的な内容が取り上げられている。</p> <p>○教科書の使い方が整理されており、学び方が分かりやすく示されている。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○キーワードや進行が学習指導要領解説に準拠している。</p> <p>○本文部分をページの左上側に固定してあり、資料と区別がつきやすく掲載されている。</p> <p>○「探求しようよ」「発展」などで、本文の関連ページが示されており、学習を深められるよう工夫されている。</p>
<p>総括</p>	<p>○本文の質・量ともに充実しており、特に現代的な課題に関する内容が充実している。</p> <p>○章扉には学年ごとの学習内容の簡潔な記述とともに、小・中・高等学校の学習内容の系統性が示され、学習への意欲を高めるよう工夫されている。</p> <p>○学習が円滑に進められるよう、「目標」「本文+資料」「活用しよう」という構成で工夫されている。</p> <p>○章末の「探求しようよ」では、課題及びその解決方法が例示されている。</p>

埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会専門員技術・家庭科（技術分野）調査の観点

項目	観 点
教育基本法、学校教育法の下の中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○生活と技術とのかかわりについて理解を深めさせるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てるために、どのような工夫が見られるか。</p>
特 色	<p>＜基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる工夫＞</p> <p>○生徒が自立して主体的な生活を営むために必要とされる基礎的・基本的な知識及び技術を習得させるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○習得した知識及び技能を活用し、生活する上で直面する課題を解決する能力と態度を育成するために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○生活に関心をもたせ、学習の成果を積極的に生活に生かすことができるようにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜実践的・体験的な学習活動の工夫＞</p> <p>○ものづくりなどの実習や観察・調査等の具体的な活動を通して学習させるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成する工夫＞</p> <p>○技術の在り方や活用の仕方などに対して客観的に判断・評価し、主体的に活用できるようにするために、どのような工夫が見られるか。</p>
	<p>資 料</p> <p>○学習効果を高めるため、資料にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○さし絵、写真、図表等、資料のレイアウトにどのような工夫が見られるか。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○生徒の理解を高めるため、言語や記号・用語・単位などの使い方にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○特別支援教育の視点から、障害その他の特性の有無にかかわらず生徒にとって読みやすくするため、どのような配慮がなされているか。</p>
総 括	(全体的な特徴、その他)

<p>書名 項目</p>	<p>新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology</p> <p style="text-align: right;">2 東 書</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○学習指導要領の「教科・分野の目標及び内容」「指導計画の作成と内容の取り扱い」に準拠し、技術科分野の学習を通して、技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割、発展と環境との関係を考えられるよう構成されている。</p> <p>○学習指導要領の内容A、B、C、Dという4編で構成され、基礎的・基本的事項をおさえ、将来にわたって問題解決能力が身に付くよう工夫されている。</p>
<p>特 色</p>	<p>内 容</p> <p>＜基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる工夫＞</p> <p>○基礎的・基本的な内容を丁寧に記述し、重要語句はゴシック体で示して、基礎的・基本的な知識を習得できるよう工夫されている。また、各節の最後に「まとめの活動」を設け、学習のまとめができるよう工夫されている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現等を育成する工夫＞</p> <p>○計画、実行、評価、改善（PDCAサイクル）の流れを製作・育成の場面でも示し、ものづくりをしながら、問題解決能力を育成できるよう配慮されている。</p> <p>○実習例には「問題の発見」を表示し、製作のきっかけとなる「問題」を例から、使用目的、使用条件などが考えられるように配慮し、生徒のワークシート例やレポート例を充実させて、表現力を高められるよう工夫されている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○各節の導入には「始めの活動」を設け、関心や意欲を高めるようにしているとともに、意欲的に取り組めるよう、どのページも写真やレイアウトが工夫されている。</p> <p>＜実践的・体験的な学習活動の工夫＞</p> <p>○実習例を数多く取り上げ、学校の実態や生徒の個性に応じられるよう工夫され、工具や機器の安全な使用についても取り扱っている。</p> <p>＜技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成する工夫＞</p> <p>○技術分野の学習を通して、ものづくりや技術の学習の大切さと将来にわたって技術を大切に評価し、活用する能力と態度の育成ができるよう工夫されている。</p> <p>○生徒が自分なりに評価・活用を行うためのワークシート例が掲載されている。</p> <p>資 料</p> <p>○各節では「目標」「はじめの活動」「まとめの活動」などが、全見開きの同じ位置に目立つように配置されている。</p> <p>○実習例等のページをはじめ、見開きで内容が見渡すことができるように、ページをめくる方向と同じ左から右へと読み進めるよう、レイアウトが工夫されている。</p> <p>○「実習例」「基礎技能」のページの右端に色帯を施し、検索できるよう工夫されている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○書体は全てユニバーサルデザインフォントを使用し、可読性を高めている。色覚の特性にかかわらず、見やすい紙面になるよう配慮されている。</p> <p>○作業する手のアップや姿勢の写真などを随所に掲載するとともに、専門的な用語については、脚注・巻末などで、簡潔な表現を用いて解説を補足することで、生徒が理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>総 括</p> <p>○教科書全体として生きる力が育まれるよう構成されている。</p> <p>○生徒の関心・意欲・態度が高められるよう工夫されているとともに、基礎的・基本的な知識・技術の習得と、生活を工夫し創造する能力の育成ができるようにバランスよく配置されている。</p> <p>○作り手や使い手の立場から技術の本質を見つめ、将来にわたって技術を評価して活用できる能力を育めるよう工夫されている。</p>

<p>書名 項目</p>	<p>新技術・家庭 技術分野</p> <p style="text-align: right;">6 教 図</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○学習指導要領の「技術・家庭科の目標及び内容」「技術分野の目標」及び「内容」「指導計画の作成と内容の取扱い」に従い、「生きる力」を育むために、生徒自らが考え、主体的に学習活動に取り組めるよう構成されている。</p> <p>○社会や自然と共存しながら生きる「持続可能な社会」をつくるために、必要な技術を評価し活用できる能力や態度を育むことができるよう工夫されている。</p>
<p>特色</p>	<p>内 容</p> <p><基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる工夫></p> <p>○「基礎技能」「基礎技能・知識」「資料」を随所に配置し、生徒に身に付けさせたい基礎的・基本的な内容をわかりやすく表し、学習効果を高められるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現等を育成する工夫></p> <p>○生徒の身の回りの問題を解決する製品の設計と製作、生物育成計画の立案、プレゼンテーションの練習などを通して、話し合いや考える場面を設定し、表現力などが育成できるよう工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○友達と相談しながら実習題材を進めたり、実習題材に「コツマーク」を設けたりすることで、生徒が主体的に学習できるよう工夫されている。また、各章末には、まとめ・章末問題があり、学習の振り返りや確認ができるよう工夫されている。</p> <p><実践的・体験的な学習活動の工夫></p> <p>○合計で19の実習題材を掲載し大きな写真を用いて各手順を丁寧に記載している。</p> <p>○題材と基礎的な技能・知識を併読することで、より体験的な学習を進められるよう工夫されている。</p> <p><技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成する工夫></p> <p>○章末に各領域の学習の要点をまとめたページを設け、学習の振り返りや確認のための問題に取り組めるようにするとともに、評価・活用に関わる記述部分を「調べよう」「考えよう」「やってみよう」マークで示し、意欲を高める工夫がされている。</p> <p>資 料</p> <p>○イラストや図、写真を随所に使用し、生徒が意欲的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○生徒の興味・関心を高められるように、はじめの見開き「宇宙エレベーター」や各中扉で、ダイナミックな写真やイラストが掲載されている。</p> <p>○奇数ページの右端に爪見出しを付けることで、何処を学習しているのかが分かるよう工夫されている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○カラーバリアフリーの観点やユニバーサルデザインフォントを使用し、読みやすいよう配慮されている。</p> <p>○導入の見開き・図・本文のレイアウトを固定するなど、特別な支援を必要とする生徒が学習しやすいよう工夫されている。</p> <p>○「調べよう」「やってみよう」「考えよう」を本文中に組み込み、自ら探究できる力を養えるよう工夫されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○生徒の視点を大切にし、興味・関心・意欲をもちながら主体的に学習できるように、導入から基礎的・基本的な学習内容、実習題材、まとめ、章末問題など、系統的に学習できるよう構成されている。</p> <p>○言語活動の充実、情報モラル、持続可能な開発のための教育、安全・防災教育、伝統文化、国際理解など、今日的な教育課程に教科書を通して学習できるよう工夫されている。</p>

<p>書名 項目</p>	<h1 style="margin: 0;">技術・家庭（技術分野）</h1> <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 9 開隆堂 </div>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○各内容は学習指導要領に示された「教科・分野の目標及び内容」「指導計画の作成と取扱い」に準拠している。</p> <p>○実践的・体験的な学習活動を通して、生活をよりよくしようとする意欲を引き出し、自ら問題を見出し、課題を設定して解決を図る力を身に付けることができるよう構成されている。</p>	
<p>特色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる工夫></p> <p>○各内容とも、基礎的・基本的な事項が習得できるように、要点を押さえて「導入」→「基礎学習」→「展開」→「まとめ・評価」の順で構成され、系統的に展開し、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現等を育成する工夫></p> <p>○各学習項目において、導入題材を設けて身近な課題に取り組み考えさせることから始めることで、生徒に問題意識をもたせ自ら解決しようとする能力や、情報技術で様々なデータを組み合わせて表現する力を育成できるよう工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○本文に内容の理解や問題解決の手がかりとして、「学習の流れ」や図・イラスト・写真を活用して主体的に取り組めるよう配慮し、「参考」「探究」「発展」という項目を設け、生徒が興味・関心等に応じて学習が進められるよう工夫されている。</p> <p><実践的・体験的な学習活動の工夫></p> <p>○実習例では、基礎となる実習をはじめ、参考・応用的な内容の「参考」「ウォッチング」「発展」など、多様な例が取り扱われ、男女ともに意欲・関心をもって取り組めるよう工夫されている。</p> <p><技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成する工夫></p> <p>○小題材のまとめり毎に「ふり返り」が設定されているとともに、各内容の最後の学習項目で、学習のまとめとコラムが見開きで取り上げられており、技術を適切に評価し活用することについて考えられるよう配慮されている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○各学習項目では基本的に見開きでまとめられ、特に実習例などの頁は内容が見渡すことができるよう配置されている。</p> <p>○四つの内容を色で区別し、奇数頁の右上には爪見出し設けられ、全体の中の何処を学習しているのか常に分かるよう工夫されている。</p> <p>○各頁の下部には豆知識が設けられ、生徒が興味・関心をもって知識を習得できるよう工夫されている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○色覚の違いによる情報格差が起らないようにカラーユニバーサルデザインを取り入れ配慮されている。</p> <p>○教科書の内容は、見開き単位で小項目の学習が完結するようにレイアウトが工夫されているとともに、生徒自らが作業しているように見えるアングルの写真や図版が使用され、理解を促すよう配慮されている。</p>
	<p>総 括</p>	<p>○各内容は、「導入」→「基礎学習」→「展開」→「まとめ・評価」の順で構成され、各段階とも、生徒の興味・関心・意欲を高めながら、問題解決的な学習が系統的に進められるよう工夫されている。</p> <p>○今日的な課題である安全教育や環境教育、伝統文化、科学的視点、情報モラルなども、総合的な取り扱いだけでなく、それぞれ個々の学習場面と関連づけて随所に取り上げ、実践的に学習できるよう工夫されている。</p>

埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会専門員技術・家庭科（家庭分野）調査の観点

項目	観 点
教育基本法、学校教育法の下の中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○伝統と文化を尊重する態度を育てるために、どのような工夫が見られるか。</p>
特色	<p>内容</p> <p>＜基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる工夫＞</p> <p>○生徒が自立して主体的な生活を営むために必要とされる基礎的・基本的な知識及び技術を習得させるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○習得した知識及び技能を活用し、生活する上で直面する課題を解決する能力と態度を育成するために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○生活に関心をもたせ、学習の成果を積極的に生活に生かすことができるようにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜実践的・体験的な学習活動の工夫＞</p> <p>○衣食住などに関する実習や観察・調査等の具体的な活動を通して学習させるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育成する工夫＞</p> <p>○日常生活の中から課題を見だし、解決を目指す学習に取り組ませるために、どのような工夫が見られるか。</p>
	<p>資料</p> <p>○学習効果を高めるため、資料にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○さし絵、写真、図表等、資料のレイアウトにどのような工夫が見られるか。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○生徒の理解を高めるため、言語や記号・用語・単位などの使い方にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○特別支援教育の視点から、障害その他の特性の有無にかかわらず生徒にとって読みやすくするため、どのような配慮がなされているか。</p>
総括	(全体的な特徴、その他)

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して</p> <p style="text-align: right;">2 東 書</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○学習指導要領の「技術・家庭科の目標及び内容」「家庭科分野の目標」「内容」「指導計画の作成と内容の取り扱い」に準拠し、家庭科分野の学習を通して、持続可能な社会を目指す態度や協同して生きる力が培われるよう構成されている。</p> <p>○学習指導要領の内容A、B、C、Dという4編で構成され、基礎的・基本的事項をおさえ、それぞれの内容を関連付けて学習できるよう工夫されている。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特色</p>	<p style="text-align: center;">内 容</p> <p><基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる工夫></p> <p>○四つの内容ごとに爪見出しを用いて「基礎的技能ページ」としてまとめ、基礎的・基本的な知識や技能を習得ができるよう工夫されている。</p> <p>○実験等の資料を取り上げ、科学的な思考に基づく知識の習得が図られている。</p> <p>○各節の最後には「まとめの活動」を設け、知識の習得の定着が図られている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○実生活から問題を見付け解決するプロセスを繰り返すことで、生活をよりよくしようとする問題解決的な学習方法が設定されている。</p> <p>○レポートやプレゼンテーションソフト、ポスターなど具体的に示すことで、目的に応じた表現ができるよう工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○各編を「導入」「基本」「まとめ」で統一、導入を見開きで構成、興味・関心・共感を高める資料やイラストを使用し、主体的な学習を促すよう工夫されている。</p> <p><実践的・体験的な学習活動の工夫></p> <p>○授業時数に応じて題材を選択できるよう配慮されており、調理実習例では主題材、参考題材全て49題材を取り上げ、製作の実習例では簡単な製作から小物まで20題材を取り上げ、実践的・体験的な学習ができるよう工夫されている。</p> <p><課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育成する工夫></p> <p>○契約や消費者トラブル、消費者の権利と責任の学習では、現在そして将来直面するような場面を具体的に実習や活動例で取り上げ、実生活と結び付けて生活をよりよくしていこうとする能力や態度を育むことができるよう工夫されている。</p> <p style="text-align: center;">資 料</p> <p>○大判の紙面を用いて実習例や資料をスッキリ区別し、見やすく構成されている。</p> <p>○生徒の手や体の巧遅性を配慮し、作業する手のアップや姿勢の写真など掲載し、安全や衛生面に気を付けてシュミレーションできるよう工夫されている。</p> <p>○資料のコーナーを目立たせ、巻末には言葉の頁を設け、食生活、衣生活、住生活編に分類することで、必要な時にいつでも確かめられるよう工夫されている。</p> <p style="text-align: center;">表記・表現</p> <p>○特別支援教育や色覚特性などに配慮し、書体は全てユニバーサルデザインフォントが使用されている。</p> <p>○キャラクターの台詞を全て文節改行することで、言葉の意味を理解しながら読み進めることができるよう工夫されている。</p> <p>○本文と資料部分が明確に区別できるよう、太い罫線を使う、背景に色を付けるなど工夫されている。</p>
<p style="text-align: center;">総 括</p>	<p>○生徒の関心・意欲・態度が高められるよう、基礎的・基本的な知識・技能の習得と、生活を創造する能力を育めるようにバランスよく記述されている。</p> <p>○学習を活用して生活や社会に生かすための工夫がされており、家庭科の学習全体で「生きる力」が育まれるよう工夫されている。</p> <p>○今日的な課題である安全、食育、環境、防災、伝統・文化に関する内容が随所に取り扱われている。</p>

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">新技術・家庭 家庭分野</p> <p style="text-align: right;">6 教 図</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○学習指導要領の「技術・家庭科の目標及び内容」「家庭科分野の目標」「内容」「指導計画の作成と内容の取り扱い」に従い、「生きる力を」を育むために、生徒が自ら考え、主体的に学習に取り組めるよう構成されている。</p> <p>○学習指導要領の内容A、B、C、Dという四つの内容で構成され、基礎的・基本的事項をおさえ、それぞれの内容を関連付けて学習できるよう工夫されている。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる工夫></p> <p>○「学習の目標」の明記、「キーワードチェック欄」「学習の振り返り」を掲載し、基礎的・基本的な知識や技能の習得ができるよう工夫されている。</p> <p>○図版、イラスト、写真を適切に使用することにより、基礎的・基本的な内容が理解しやすく、実感をともなう学習活動が展開できるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○生徒が互いに技術・技能とコミュニケーション能力を高め合えるように、グループやクラスで話し合ったり発表したりできる実習やワークを掲載し、言語活動の充実を図り、表現力を育成できるよう工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○生徒の視点を大切にして、「つぶやき」から生徒の気付きを促し、主体的に考えたり調べたりできる学習や、生徒同士で意見を出し合い、互いに関わり合いながら進める学習ができるよう工夫されている。</p> <p><実践的・体験的な学習活動の工夫></p> <p>○内容ごとに、話し合い、観察、調査、実践、実習などの実践的、体験的な学習ができるように工夫され、題材例は、調理実習では主食・主菜・副菜・汁物・デザート・間食という区分で29題材、布を用いた製作の6題材が取り上げられている。</p> <p><課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育成する工夫></p> <p>○「生活の課題と実践」では、既習学習をもとに家庭科分野の学習を広げていく手順や手法を示し、生活をよりよくできるよう工夫されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>資 料</p>	<p>○カラーバリアフリーの観点を取り入れ、文字はユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、重要な語句は太字で分かりやすく記載されている。</p> <p>○本文と資料部分が明確に区別できるよう、罫線を使い背景に色を付けるなど工夫されている。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>総 括</p>	<p>○生徒の視点を大切にしたキャラクターを用いて、興味・関心・意欲を喚起しながら主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○基礎的・基本的な内容から発展的な内容が系統的に掲載され、実践的・体験的な学習を通して、教科の目標が実現できるよう工夫されている。</p> <p>○今日的な課題である小学校との関連、環境、消費、伝統文化などを授業の中で取り上げ学習できるよう工夫されている。</p>

<p>書名 項目</p>	<h1>技術・家庭（家庭分野）</h1>		<p>9 開隆堂</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○学習指導要領の「家庭科の目標及び内容」「指導計画の作成と内容の取り扱い」に従い、基礎的・基本的な事項をおさえた学習ができるよう適切に配慮されている。</p> <p>○実践的・体験的な学習を通して生活をよりよく改善しようとする意欲を喚起し、実生活から自ら問題を見出して課題を設定し解決を図り、「自立」と「共生」の力を育めるよう工夫されている。</p>		
<p>特色</p>	<p>内容</p>	<p><基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる工夫></p> <p>○基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を重視し、基礎的・基本的事項と参考・発展等の区分を明確にすることで重点化を図り、基礎的・基本的事項となる内容について簡潔かつ的確に記述されている。</p> <p>○実習・製作などの実践的・体験的な学習活動によって自立を促し主体的に生活できるように、基礎的・基本的な知識及び技術を習得できるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○問題解決的な学習を通して、学習のねらいをより定着させるための言語活動の進め方のプロセス図を掲載したり、レポート例などの言語活動の手立てを示したり、巻末に総括して資料を掲載したりして、表現力を育められるよう工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○問題を解決しながら生活に生かす力を身に付け、個に応じた発展的な学習ができるようにするとともに、ページ下段の「豆知識」を活用して主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p><実践的・体験的な学習活動の工夫></p> <p>○問題解決的な学習を中心に学習したことを生かして、よりよく生活するための具体的な手立てを「発展」「追究」と示し、実践できるよう工夫されている。</p> <p><課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育成する工夫></p> <p>○「生活と課題の実践」では、A・B・Cの内容で学んだことを生徒の興味・関心・実態に合わせて実践し、生活に生かせるよう工夫されている。</p>	
	<p>資料</p>	<p>○四つの内容項目を色で区別し、学習の見通しがもてるように配慮されており、マークやキャラクターを用いて関心・意欲をもって学習できるよう工夫されている。</p> <p>○実物大の食材例の写真はインパクトがあり、学習の意欲を高め、実生活で活用できるよう工夫されている。</p> <p>○分かりやすい食品成分表を用いたり、安全・衛生面を重視して作業中の事故防止などをマークで記して注意喚起を促したりするなど、工夫がなされている。</p>	
	<p>表記・表現</p>	<p>○色覚の違いによる情報格差が起こらないよう、カラーユニバーサルデザインを取り入れ配慮されている。</p> <p>○「爪見出し」を用いて各内容に特徴付けるマークが示され、学習している箇所が常に分かるように工夫されているとともに、重要な語句は太字で分かりやすいように記載されている。</p>	
	<p>総括</p>	<p>○各内容は、「導入」「基礎学習」「展開」「まとめ・評価」の順で構成され、生徒の興味・関心・意欲を高めながら問題解決的な学習が系統的に進められるよう工夫されている。</p> <p>○今日的な課題である食育、防災、環境、伝統文化、消費教育、小学校との系統性、他教科との関連などを、マークを用いて個々の学習内容と関連づけて随所で取り上げ、実践的な態度を育むことができるよう配慮されている。</p>	

埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会専門員外国語科（英語）調査の観点

項目	観 点
教育基本法、学校教育法の下の中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○外国語を通じて、聞くこと・話すこと・読むこと・書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養うために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深めるために、どのような工夫が見られるか。</p>
特色	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫＞</p> <p>○コミュニケーション能力の基礎的・基本的な知識・技能を定着させるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○学習した知識等を活用し、自分の考えや気持ち、事実などを伝える表現力を育成するために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○積極的にコミュニケーションを図ろうとしたり、主体的に学習に取り組もうとしたりするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜外国語を通じて、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫＞</p> <p>○実際のコミュニケーションを目的として外国語を運用することができる能力の基礎を養うために、どのような工夫が見られるか。</p>
	<p>資料</p> <p>○学習効果を高めるため、資料にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○さし絵、写真、図表等、資料のレイアウトにどのような工夫が見られるか。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○生徒の理解を高めるため、言語や記号・用語などの使い方にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○特別支援教育の視点から、障害その他の特性の有無にかかわらず生徒にとって読みやすくするため、どのような配慮がなされているか。</p>
総括	(全体的な特徴、その他)

<p>項目</p>	<p>書名</p> <p style="text-align: center;">NEW HORIZON English Course</p> <p style="text-align: right;">2 東 書</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○国際社会を生き抜く日本人を育成するために、基礎的な英語力を「技能」として確実に身に付け、その英語力で世界とつながろうとする心を育てることを目指している。</p> <p>○Unit（文法と語彙の習得）→Daily Scene（言語活動による活用）→Presentation（自己表現活動による発信）の3部構成によって、4技能を総合的に育成できる学習の流れとなっている。</p> <p>○生徒が自分の言葉で英語を使う活動が豊富に盛り込まれ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成ができるよう工夫されている。</p>
<p>特色</p>	<p>内 容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○全体をUnit「習得」、Daily Scene「活用」、Presentation「発信」の3部構成とし、これらを繰り返し学習することで、基礎的な英語力を確実に身に付けることができるよう構成されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○単元ごとに、目標とそれに対応した評価ができる活動が用意されている。年3回のPresentation活動を目指して各単元の学習を積み重ね、自分の言葉で発信する力を育成できるよう設定されている。</p> <p>○各Unitのパートは必ず「書く」または「話す」のアウトプット活動が設定されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○自律した学習者の育成を目指して、英語を意欲的・主体的に学習するための方法（How to）を身に付ける単元が「学び方コーナー」にまとめられている。</p> <p>○辞書の使い方や発音記号、文章のまとめ方等、生涯にわたって英語を学び続けるためのコツが紹介されている。</p> <p><外国語を通じて、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫></p> <p>○2・3学年においては、文法と「聞く」「話す」中心の言語活動に加え、「読む」「書く」中心の言語活動にも重点が置かれ、最後に統合型の活動をするよう工夫されている。</p> <p>○3学年を通して「言語の使用場面」「言語の働き」が明確に示され、特にDaily Sceneでは生徒が日常生活で使える場面の表現が、実写とセリフを通して習得しやすいよう工夫されている。</p> <p>資 料</p> <p>○各学年の巻末に設けられた語彙集や資料で、より幅広い知識と教養を身に付け、豊かな自己表現ができるよう工夫されている。</p> <p>○グラフや地図などを読み取る教材として、文字だけではなく、様々な表現形態を用いて思考力を養うよう工夫されている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○大判になり、紙面全体にゆとりをもたせてある。</p> <p>○全編を通して、和文には読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン(UD)書体を使用されている。また、文字習得に負担がないように、1学年では手書き文字に近い書体がほぼ全編で使用されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○Unitで学んだことを、Daily Sceneで実際に使ってみて、Presentationで発信につなげるという流れになっている。習得した技能を積み上げて活用し、自分の言葉で世界に発信するための表現力を育成できるよう構成されている。</p> <p>○Do You Knowというコーナーでは日本国内の文化にふれていて、自国を知ることが国際感覚を養うために必要だと感じられるように工夫されている。</p>

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">SUNSHINE ENGLISH COURSE</p> <p style="text-align: right;">9 開隆堂</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○CAN-DO 自己チェックリスト（年間4回）を用いて、3年間を見通した学習者の到達目標を明確にし、その目標を達成していくことで学力を身に付けられるように配置されている。</p> <p>○本文の内容は日本との関連性を紹介し、世界観を広げさせ、積極的に外国語学習に取り組もうとする態度の育成が図られている。</p> <p>○日本文化をはじめ、自分のことを発信する方法をくり返し学習することで、コミュニケーション能力の基礎を養えるよう配慮されている。</p>
<p>特 色</p>	<p>内 容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○各 Lesson で学習した内容が、「英語の仕組み」というタイトルで Lesson の最後にまとめられていて、新出文法事項の定着が図られている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○各学年の教科書に数か所ずつ「My Project」というコーナーを設けている。そこで既習文法事項を振り返り、事実を伝えたり、自分の考えをまとめて発表したりするよう構成されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○1 学年では数の言い方や曜日と天気の違いを集中して学習するコーナーを設け、学習者が学習しやすく構成されている。</p> <p>○各 Lesson のセクションで既習事項を学習した後は、毎回 Listening と Speaking の活動ができるよう構成されている。</p> <p><外国語を通じて、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫></p> <p>○各セクションの終わりに、基本文を用いて自己表現をする欄がある〈Write〉。さらに、2～3 Program 毎にまとめた英文で自己表現をすることで、知識・技能の定着が図られている〈My Project〉。</p> <p>○グラフや地図などを読み取る教材として、文字だけではなく、様々な表現形態を用いて思考力を養う教材が工夫されている。</p> <p>○自己表現活動では、参考となる表現を提示し、学習者が自分に合った表現を選びながら表現できるよう工夫されている。</p> <p>資 料</p> <p>○内容理解を助ける絵や写真が豊富に配置されている。読み物後の理解力アップのための活動が充実している〈After Reading〉。</p> <p>○入門期、「Let's Start」として、身の回りの英語を紹介し、英語に興味をもたせるよう構成されている。また、出題形式が“Hi, friends!”に合わせてあり、小中の接続が意識されている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○文法のまとめでは、品詞を淡い色で色分けし、語順が色で学べるように設定されている。語が枠囲いされており、誰にでも語のまとまりの区切りがわかるよう配慮されている。</p> <p>○Power-Up Speaking と Basic Dialog のまとめでは段組されており、片方を隠しながら学習できるよう工夫されている。また、練習の手順が示されており、自主学習に取り組みやすくなるよう配慮されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○自己表現力を付けることに重点が置かれ、活動方法や手順が必要に応じて示されている。</p> <p>○1・2 学年では会話形式の本文が多いが、3 学年では読み物資料が多くなる。各セクションで既習事項を学習後の Listening と Speaking の活動、「Power-Up」「My Project」という流れをくり返し、少しずつ発展的・統合的な活動ができるように設定されている。</p>

<p>書名 項目</p>	<p>TOTAL ENGLISH</p> <p style="text-align: right;">1 1 学 図</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○小学校段階での外国語活動を通じて育成された素地をふまえ、円滑に中学校の学習へ移行できるように図られている。</p> <p>○会話形式の本文が多く、インフォメーションギャップやタスクの要素を取り入れた「擬似コミュニケーション活動」が各 Lesson の Activities で設定されており、聞くこと・話すことなどのコミュニケーション能力の基礎のための学習内容が工夫されている。</p> <p>○文化比較の内容を扱うことで、言語や文化に対する理解を深められるよう設定されている。</p>	
<p>特色</p>	<p>内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○セクション毎に LSW の活動があり、量と質も充実している。また、Lesson で学習したことをすぐに復習・確認するページがあり、充実度が高い〈Review〉。さらに、各技能の統合的な活動を行えるよう設定されている〈Chapter Project〉。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○自己表現活動での文例が多数示されている。また、手順を示してあるので生徒が作文しやすくなるよう工夫されている。各学年とも年間5回の活動がある〈Project〉。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○Chapter の扉に章ごとの学習目標を明記し、生徒の見通しや振り返り学習を示している。</p> <p>○Chapter で学習した言語材料や文法事項を、章末の Check it Out でまとめて学習するよう構成されている。説明は必要最低限に設定されている。</p> <p>○スピーチ活動の最後に「スピーチを聞いて、質問したり、意見を言ってみましょう」のコーナーがあり、積極的にコミュニケーションを図ろうとする技術を身に付けさせ、意欲の向上を促している。</p> <p>○各セクションの Activities が、学習者にとって自分のものとして感じる内容が使用されている。特に Speaking では、you を主語にした応答練習が多い。</p> <p><外国語を通じて、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫></p> <p>○「But」「Really?」「How about you?」などのつなぎ言葉が早期から多用されるなど、中学生が日常的に取り上げそうな話題が選定されている。日常で使える表現を多用して、実際のコミュニケーション能力の育成を促している。</p>
<p>特色</p>	<p>資 料</p>	<p>○内容理解を助ける絵や写真が豊富に配置されており、図やグラフを使う内容が扱われている。また、読み物後の理解力アップのための活動が充実している。</p> <p>○巻末に、身近なものを表す英単語が紹介されている。また外国の文化、事物を紹介する写真や絵が本文に多く設けられている。</p> <p>○目次に何の文法について勉強するのか、また各 Chapter の始めのページに、その Chapter で何を学ぶのかが示されており、本文の内容がわかるよう配慮されている。</p>
<p>特色</p>	<p>表記・表現</p>	<p>○カラーユニバーサルデザインが意識されている。</p> <p>○各セクションに本文のイントネーションとストレスが表示され、英語らしい音声のリズムが身に付くように図られている。また、新出語句は本編で学べるように配置されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○入門期から一般動詞を取り入れ、早い時期からの言語活動を容易にしている。また、会話形式の本文を多く取り上げ、言語活動に配慮したものになっている。また、日常使う表現が本文で扱われており、本文を覚えることで英会話が身に付くようになっている。</p> <p>○多読を意識した構成になっており、読解力の向上が図られている。</p>	

<p>項目</p>	<p>書名 NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition</p> <p style="text-align: right;">15 三省堂</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○英語でのコミュニケーション能力を総合的に育成できる言語活動が配置されている。また、活動は個に応じた能力や創造性を育成できるよう工夫されている。</p> <p>○生徒の学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるよう、教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどが分かりやすく提示されている。</p> <p>○英語の文章を読んだり、多くの人と英語でかかわる経験をしたりする中で、幅広い知識・教養を身に付け、思考力・判断力・表現力を養えるよう配慮されている。</p>
<p>特色</p>	<p>内容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○各 Lesson を大きく四つのパートに分け、学びのプロセス、指導のプロセスが見えやすくなるように構成されている。「とびら」（見通しをもつ）→「GET」（基礎的な知識・技能の習得）→「USE」（基礎的な知識・技能の活用）→「文法のまとめ」（言語材料の振り返り）</p> <p>○「GET」では、聞く・話す・書くことを繰り返し練習して基礎を習得し、「USE」では、読む・話す・書く活動を通して基礎的な力を活用するよう設定されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○各巻末の言語活動は、取り組む生徒の個性、創造性が発揮されるよう工夫されている。自己紹介や自分の将来の夢の発表などの自己表現、クラスリサーチのプレゼンテーションや、即興会話など多彩な活動が用意され充実している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「For Self-study」では、辞書の引き方・活用の仕方、英語の学習法など、自学自習のヒントを提供し、自律的な学習者の育成を支援できるよう構成されている。</p> <p>○各 Lesson のはじめには、「とびら」を配置し、その Lesson で扱っている題材や学習事項を確認し、学習の見通しが立てられるよう構成されている。</p> <p><外国語を通じて、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫></p> <p>○本編では、いくつかの Lesson で学んだ言語材料や言語活動を生かして展開する。AL型の統合的な活動としての Project が、各学年3カ所配置されている。（例）1年生（自己紹介・友達にインタビュー・大切なものの紹介）</p> <p>○「Practice」「USE Speak」「USE Write」「Project」「Let's Talk」ではペアやグループなどの形態を重視し、生徒同士が協力して活動に取り組めるよう配慮されている。ペア活動やグループ活動が随所に配置されている。</p> <p>資料</p> <p>○生徒の表現を引き出す、言語活動で活用できる語句のリストが収録されている。</p> <p>○会話をつなげるための表現のリストを示し、言語活動で活用し、スムーズなコミュニケーションを促すよう配慮されている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○カラーユニバーサルデザインの見地により、識別しにくい配色は避け、また、形や記号・番号、説明文などの補助的な手がかりが設けられている。</p> <p>○特別支援教育の見地より、補助的な手がかりを設けるなど、学習に困難な生徒への配慮と対応がなされている。</p>
<p>総括</p>	<p>○トピックが多岐にわたっている（キャリア、平和、科学・環境、生命の尊重、正義と責任、国際理解、伝統文化・他国の文化など）。</p> <p>○資料集と問題集が合わさったようなボリューム感のある内容となっている。</p>

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;">ONE WORLD English Course</p> <p style="text-align: right;">17 教 出</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○3年間を見通した学習者の到達目標を明確にし、目標を達成していくことで学力を身に付けられるよう設定されている。</p> <p>○本文の内容を学習者の興味関心を引くものとし、外国に目を向け、積極的に外国語学習に取り組もうとする態度の育成が図られている。</p> <p>○生徒が4技能を統合的に活用できるように、基礎的な言語活動のコーナーが設定されている。</p>
<p>特 色</p>	<p>内 容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○別冊 Essentials で、教科書で学習した語句・文法事項などを LSW の活動を通して復習する。答えが赤で印刷されており、赤い下敷きを用いて何度も学習できるよう設定されている。</p> <p>○各学年とも巻末に重要構文復習リストがある。3学年は3年間分、2学年は2年間分と、既習文をくり返し学習できるよう設定されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○三つの Lesson の終わりに Project を置き、そこまでに学習した知識等を活用して自分の考えや気持ち、事実などを育成するよう設定されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○Time for a Skit（日常会話場面）は台詞が左右に分かれており、一人で隠しながら練習できるよう工夫されている。</p> <p>○年1回の CAN-DO 自己チェックリストの他に Listening / Reading / Writing / Conversation Tips / Project / Time for a Skit の目標に CAN-DO の表示が示されている。</p> <p>○基本本文の下 ここがポイント の文法の解説が詳細にまとめられている。</p> <p><外国語を通じて、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫></p> <p>○文法にとらわれず、実際の場面に即して運用できるよう設定されている。</p> <p>資 料</p> <p>○3年間、付録にて辞書の使い方を段階的に示している。自学習に役立つ知識と技能の習得が図られている。</p> <p>○文法のまとめでは、語順や成り立ちの説明が中心となっている。日本語との対比に重点が置かれている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○1学年では、ローマ字表の母音、キーボードの指づかい、つづりと発音の母音と子音が色分けして表示されている。紙質を変え蛇腹折りの綴じ込みにし、見付けやすく耐久性を高められている。</p> <p>○Part1・2の本文は1ページ分、Part3・4の本文は2ページ分ある。Part1・2の Activity には Pattern Practice 用の Tool Kit が設定されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○学習者にとってなじみの薄い国も話題に取り上げ、様々な文化があることに目を向けさせることを促している。</p> <p>○1学年：外国の学校の様子を知る。2学年：日本を見つめ直す。3学年：日本文化の発信の仕方を学ぶ。英語を学ぶ意義を3年間かけて理解するよう配置されている。</p>

<p>項目</p>	<p>書名 COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE</p> <p>38 光村</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標との関わり</p>	<p>○学習指導要領の教科目標を達成するために、3年間を通して、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を身に付けられるよう、内容が選択され、配列されている。</p> <p>○実際の使用場面や目的に応じた言葉の使い方や内容が盛り込まれている。</p> <p>○積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育み、外国語を通じて言語や文化の理解を深めることができるよう課題が設定されている。</p>
<p>特色</p>	<p>内 容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○言語の働きは、Unit 本文の自然な文脈の中で取り上げ、Unit 本文や Skit Time の下段に「表現」として掲載し、巻末の「こんなときどう言うの」で一覧として基本表現を整理できるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○PISA 型の読解力として重視される図表・グラフ・地図などを含む文章を随所で扱い、情報を的確に読み取って判断する力を養えるよう工夫されている。</p> <p>○「付録 CLIL 英語で学び、考えよう」では、技術・家庭、社会、理科など他教科の内容の一部を英語で学習することで、“英語で学ぶ” 体験ができるよう掲載されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○授業で行う言語活動の題材には、共同学習を意識したペアワークやグループワークが豊富に設定されている。</p> <p>○本文ページには、音読した回数を確認するチェック欄や New Words のチェック欄があり、振り返ったり自学自習をしたりするのに使いやすいよう工夫されている。</p> <p><外国語を通じて、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫></p> <p>○基本の Unit は三つのパートから構成され、各パートは本文と言語活動「Try It!」を見開きで示し、学習の流れが分かるように構成されている。Unit の終わりに「You Can Do It!」を設け、Unit で学んだ複数の技能を使った言語活動ができるよう設定されている。</p> <p>○数 Unit に一度、プロジェクト型の言語活動を行う「Go for It!」が置かれ、それまでに学んだ技能や知識を駆使して、自己表現活動を行えるよう配慮されている。</p>
<p>資 料</p>	<p>○文法・文構造の理解のために、各学年の巻末付録に「英語のしくみ」が掲載されている。イラストを多用し、また必要に応じて関連する文法項目を学年横断的に扱うことで、生徒が知識を統合できるよう工夫されている。</p> <p>○巻末付録に「Let's Read More」の読み物教材があり、英語学習の意欲をより高いレベルで喚起できるよう、物語や科学、ノンフィクションなど様々な分野が扱われている。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○特別支援教育およびカラーユニバーサルデザインの観点から、文字の大きさや配置、イラストや図版の配置、紙面デザインや色の明度・彩度などについて、専門家の入念な校閲を経て紙面が作成されている。</p> <p>○ブロック体・活字体の他に手書き風の文字も使っており、実生活に近い雰囲気での授業ができるよう配慮されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○本文は中学校生活を舞台とした3年間一貫したストーリー形式になっており、物語の展開を期待しながらモチベーションを継続して学習を進められるよう設定されている。</p> <p>○自然な英語にふれながら、生きた言葉の使い方を学ぶことができ、4技能のバランスのとれたコミュニケーション能力が身に付けられるよう構成されている。</p>